

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



港灣調查資料第九輯

朝鮮諸港荷役調查

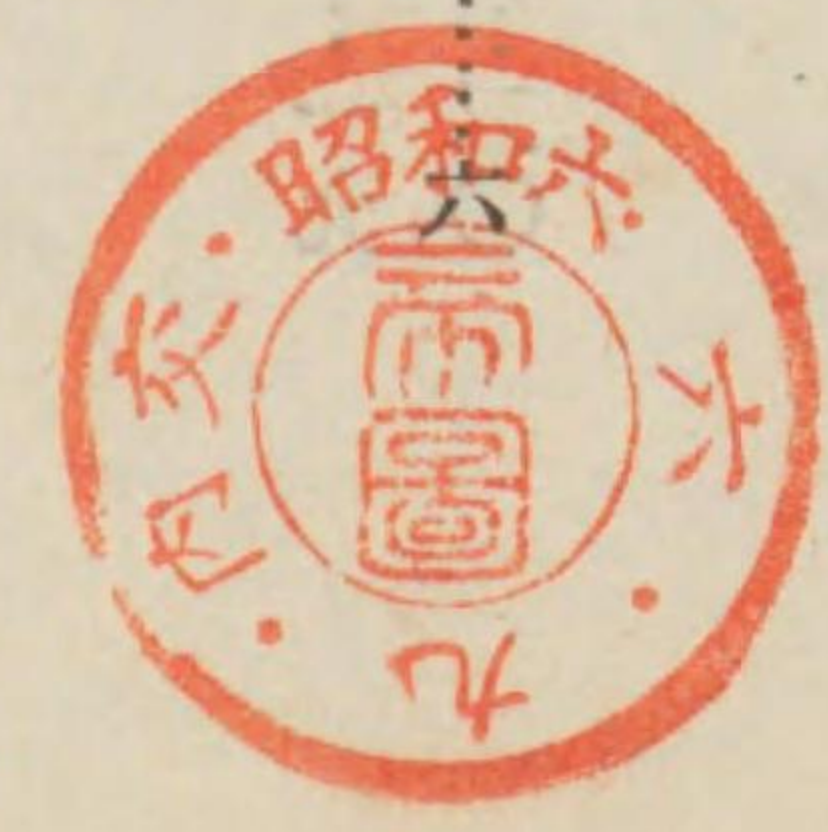
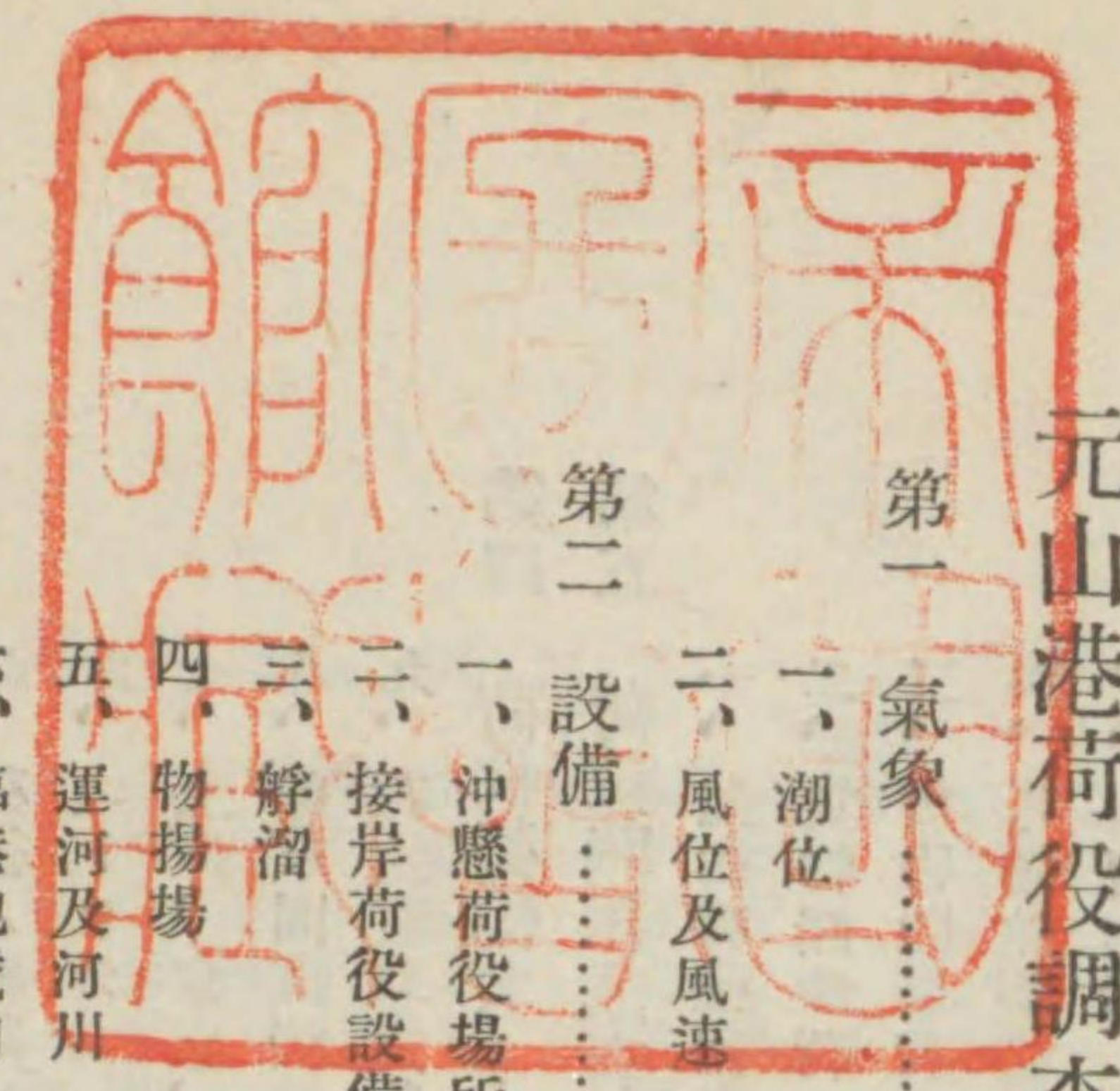
港灣協會

朝鮮諸港荷役調査

目次

元山港荷役調査一般

- 第一 氣象
 - 一、潮位
 - 二、風位及風速
- 第二 設備
 - 一、沖懸荷役場所及繫船設備
 - 二、接岸荷役設備
 - 三、舢舨
 - 四、物揚場
 - 五、運河及河川
 - 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及ビ橋梁
 - 七、貨物置場及藏置設備
 - 八、起重機其ノ他ノ荷役裝置
 - 九、ハンド・トラック其ノ他陸上運搬用具
 - 一〇、陸上小運送機關
 - 一一、陸上小運送機關ニ對スル設備



例言

一、本會は本邦港灣荷役の改善に關し委員を特設して調査中であるが、調査の資料として荷役設備と其利用・荷役關係業者・荷役労働等の現状を明かにするの要を認め、詳細なる調査項目を定め、之れが調査を全國主要港灣に就き港別に夫々當該港灣經營の關係機關に依頼した。本輯に掲載したものは左記から本會に送付せられたものである。

- 元山港 荷役調査一般 元山府 昭和四年十月二十二日附
 - 釜山港 荷役調査一般 釜山商工會議所 昭和四年九月二十四日附
 - 木浦港 荷役調査一般及荷役労働調査 木浦商工會議所 昭和四年七月二十日附
 - 群山港 荷役調査一般及荷役労働調査 群山商工會議所 昭和五年九月三十日附
 - 鎮南浦港 荷役調査一般 鎮南浦商工會議所 昭和四年十二月九日附
 - 新義州港 荷役調査一般 新義州商工會議所 昭和四年十月二十九日附
- 一、荷役の料金に付ては「本邦港灣諸掛調（貨物關係之部及船舶關係之部）」の中に明かにしてあり、舢舨、曳船等に關しては「水上小運送調査資料（其一及其二）」に詳細記してある。
- 一、茲に本輯を印刷に付するに當り資料を寄せられたる當局の厚意に對し深く感謝の意を表する。

昭和六年六月

港灣協會

第三 荷役設備利用状況 一三

- 一、利用一般
- 二、沖懸荷役
- 三、接岸荷役
- 四、物揚場ニテ積卸セル貨物
- 五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物
- 六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物
- 七、上屋、倉庫、保税工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物
- 八、船車間直接積卸貨物
- 九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

第四 荷役労働者 一九

- 一、船内荷役請負業者
- 二、貨物船積荷業者
- 三、貨物陸揚荷捌業者
- 四、船舶碇繋揚業者
- 五、回漕業者
- 六、普通倉庫業者
- 七、保税倉庫業者
- 八、保税工場業者
- 九、海事檢定業者
- 一〇、舢船業者
- 一一、檢才業者

釜山港荷役調査一般 二五

第一 氣象 二五

- 一一、曳船業者
- 一二、貨物受渡立會業者
- 一三、陸上運送業者

- 一、潮位
- 二、風位及風速

第二 設備 三〇

- 一、沖懸荷役場所及ビ繋船設備
- 二、接岸荷役設備
- 三、舢溜
- 四、物揚場
- 五、運河及河川
- 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及ビ橋梁
- 七、貨物置場及藏置設備
- 八、起重機其ノ他ノ荷役裝置
- 九、ハンド・トラック其ノ他陸上運搬用具

一〇、陸上小運送機關

- 一一、陸上小運送機關ニ對スル設備

第三 荷役設備利用状況 三八

- 一、利用一般
- 二、沖懸荷役

- 三、接岸荷役
- 四、物揚場ニテ積卸セル貨物
- 五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物
- 六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物
- 七、上屋、倉庫、保税工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物
- 八、船車間直接積卸貨物
- 九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

第四 荷役労働者

第五 荷役關係業者

- 一、船内荷役請負業者
- 二、貨物船積業者
- 三、貨物陸揚荷捌業者
- 四、船舶碇繋場業者
- 五、回漕業者
- 六、普通倉庫業者
- 七、保税倉庫業者
- 八、保税工場業者
- 九、海事檢定業者
- 一〇、舁船業者
- 一一、檢才業者
- 一二、曳船業者
- 一三、貨物受渡立會業者
- 一四、陸上運送業者

木浦港荷役調査一般

第一 氣象

- 一、潮位
- 二、風位及風速

第二 設備

- 一、沖懸荷役場所及繋船設備
- 二、接岸荷役設備
- 三、舂溜
- 四、物揚場
- 五、運河及河川
- 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及橋梁
- 七、貨物置場及藏置設備
- 八、起重機其他ノ荷役裝置
- 九、ハンド・トラック其他陸上運搬用具
- 一〇、陸上運搬機關

第三 荷役設備利用狀況

- 一、利用一般
- 二、沖懸荷役
- 三、接岸荷役
- 四、物揚場マテ積卸セル貨物
- 五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物

- 六、主トシテ「ハンド・トラック」其他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物
- 七、上屋、倉庫、保税工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物
- 八、船車間直接積卸貨物
- 九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ下請業者ノ荷役シタル貨物

第四 荷役労働者

荷役労働者.....

第五 荷役關係業者

荷役關係業者.....

- 一、船内荷役請負業者
- 二、貨物船積業者
- 三、貨物陸揚荷捌業者
- 四、船舶碇繋場業者
- 五、回漕業者
- 六、普通倉庫業者
- 七、保税倉庫業者
- 八、保税工場業者
- 九、海事檢定業者
- 一〇、艀船業者
- 一一、檢才業者
- 一二、曳船業者
- 一三、貨物受渡立會業者
- 一四、陸上運送業者

群山港荷役調査一般

第一 氣象

- 一、潮位及潮流
- 二、風位及風速

第二 設備

- 一、沖懸荷役場所及繋船設備
- 二、接岸荷役設備
- 三、艀溜
- 四、物揚場
- 五、運河及河川
- 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及橋梁
- 七、貨物置場及藏置設備
- 八、起重機其ノ他ノ荷役裝置
- 九、「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具

第三 荷役設備利用狀況

- 一、利用一般
- 二、沖懸荷役
- 三、接岸荷役
- 四、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物
- 五、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物

第四 荷役労働者

荷役労働者.....

第五 荷役關係業者

- 一、回漕業者

- 二、普通倉庫業者
- 三、保税倉庫業者
- 四、保税工場業者
- 五、海事檢定業者
- 六、舢船業者
- 七、曳船業者
- 八、貨物受渡立會業者
- 九、陸上運送業者
- 一〇、税關貨物取扱業者

群山港荷役労働調査

第一 荷役労働者及同供給業者

- 一、種類
- 二、數
- 三、就業狀況及繁閑季節
- 四、年齢及移動狀況
- 五、賃銀
- 六、作業制度
- 七、能率
- 八、雇傭方法
- 九、労働者供給業者
- 一〇、荷役労働者ノ居住
- 一一、保險、傷害、休養、衛生其ノ他ニ關スル施設又ハ給與

- 一二、教育程度
- 一三、労働爭議
- 一四、労働組合
- 第二 荷役請負者
- 第三 主トシテ人力ニ依ル荷役又ハ運搬
 - 一、主ナル貨物ノ品名並ニ荷造
 - 二、荷役又ハ運搬ノ方法
 - 三、荷役又ハ運搬ノ用具
 - 四、一人一時間ノ荷役又ハ運搬能率
 - 五、一口一時間ノ荷役又ハ運搬能率

鎮南浦港荷役調査一般

- 第一 氣象
 - 一、潮位
 - 二、風位及風速
- 第二 設備
 - 一、沖懸荷役場所及繋船設備
 - 二、接岸荷役設備
 - 三、舢溜
 - 四、物揚場
 - 五、運河及河川
 - 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及橋梁

- 七、貨物置場及藏置設備
- 八、起重機其ノ他ノ荷役装置
- 九、「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具
- 一〇、陸上小運送機關
- 一一、陸上小運送機關ニ對スル設備

第三 荷役設備利用狀況

一二〇

- 一、利用一般
- 二、沖懸荷役
- 三、接岸荷役
- 四、物揚場ニテ積卸セル貨物
- 五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物
- 六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物
- 七、上屋、倉庫、保税工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物
- 八、船車間直接積卸貨物
- 九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

第四 荷役労働者

一二五

第五 荷役關係業者

一二五

- 一、船内荷役請負業者
- 二、貨物船積業者
- 三、貨物陸揚荷捌業者
- 四、船舶碇繫場業者
- 五、回漕業者
- 六、普通倉庫業者
- 七、保税倉庫業者
- 八、保税工場業者
- 九、海事檢定業者
- 一〇、艀船業者
- 一一、檢才業者
- 一二、曳船業者
- 一三、貨物受渡立會業者
- 一四、陸上運送業者

鎮南浦港荷役労働調査

一三一

第一 荷役労働者及同供給業者

一三一

- 一、種類
- 二、數
- 三、就業狀況及繁閑季節
- 四、年齢及移動狀況
- 五、賃銀
- 六、作業制度
- 七、能率
- 八、雇傭方法
- 九、労働者供給業者
- 一〇、荷役労働者ノ居住
- 一一、保險、傷害、休養、衛生其ノ他ニ關スル施設又ハ給與
- 一二、教育程度

- 一三、勞働爭議
- 一四、勞働組合
- 第二 荷役請負業者.....一四〇
- 第三 人力ニ依ル荷役又ハ運搬.....一四四
 - 一、主ナル貨物ノ品名並ニ荷造
 - 二、三、荷役又ハ運搬ノ方法
 - 四、一人一時間ノ荷役又ハ運搬能率
 - 五、一口一時間ノ荷役又ハ運搬能率

新義州港荷役調査一般

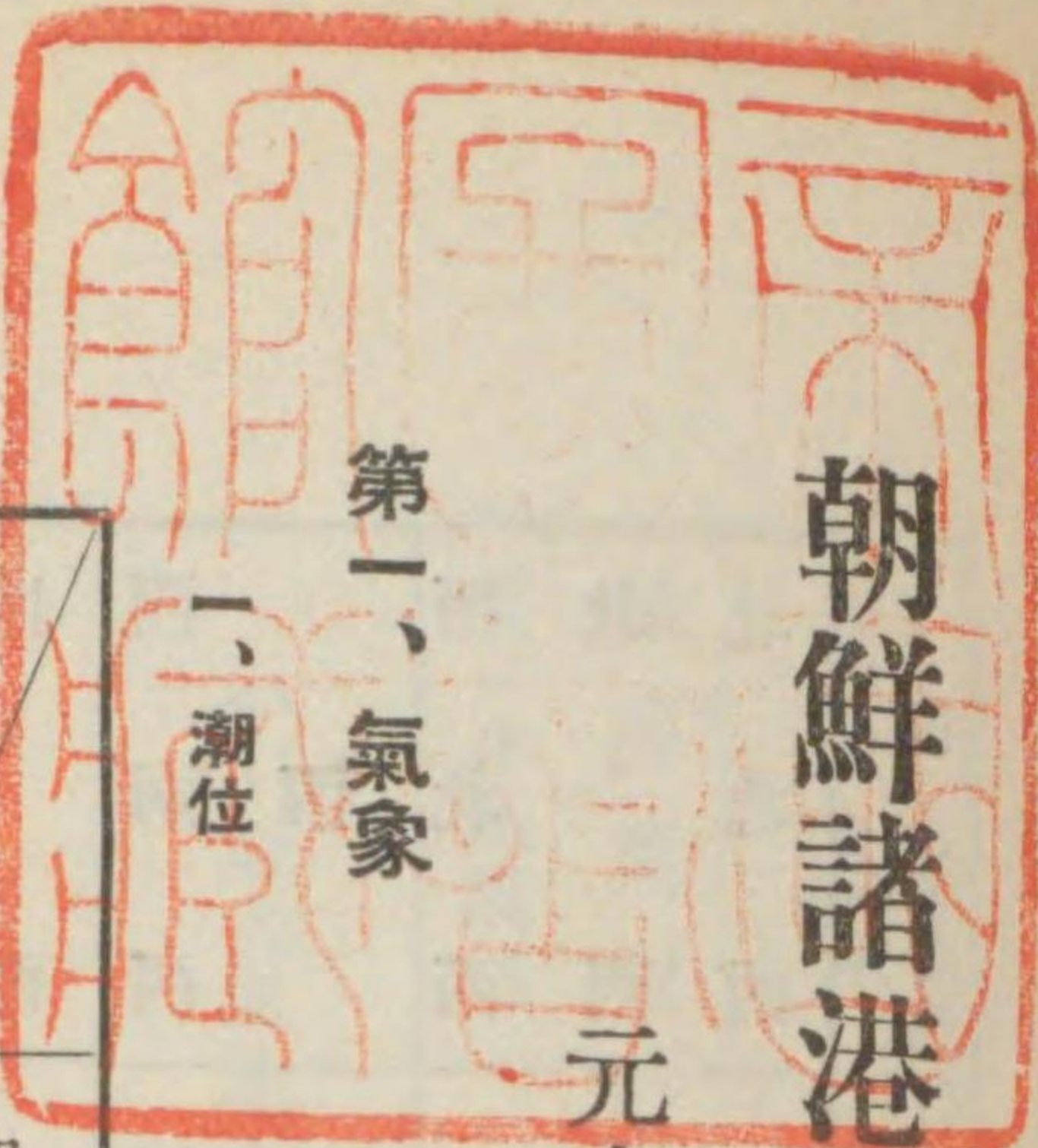
- 第一 水深區分.....一四五
- 第二 港内繫船能力.....一四五
- 第三 防波堤、防砂堤、道水堤、繫船壁.....一四五
- 第四 潮位及潮流.....一四六
- 第五 棧橋.....一四六
 - 一、修船渠
 - 二、港灣用地
 - 三、小船船溜
 - 四、港内航路
 - 五、浚渫
 - 六、解船及曳船

附 錄

- 一、稅關棧橋繫船壁及船渠使用規則.....一四九
- 二、稅關所屬曳船使用規則.....一五一
- 三、保稅地域内貨物取扱規則.....一五二
- 四、元山稅關内國貨物藏置場使用規程.....一五四
- 五、元山港稅關所屬沿岸貿易地帶使用規則.....一五五

朝鮮諸港荷役調査

元山港荷役調査一般



第一、氣象

一、潮位

干潮位	滿潮位	差
一尺五	一尺五	朔望平均
一尺五	一尺五	最大平均
(一)	三尺五	差
三尺五	一尺五	備考

二、風位及風速

1、風位回數 (自大正八年(至昭和三年十ヶ年平均))

風位	月別	備考
北々東	一 二 三 四 五 六 七 八 九 一〇 一一 一二	
北	一〇 一八 三二 三七 三六 三三 三四 三二 二五 一八 一三 〇九	

風位	風位												備考	
	北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北		北
一	一・七	二・五	七・五	二・六	二・六	三・三	三・四	一・二	〇・三	一・〇	二・二	三・八	一・九	一・四
二	一・六	二・二	六・八	二・三	二・〇	一・四	四・六	一・三	〇・七	〇・七	二・二	五・三	四・〇	二・六
三	二・九	一・九	六・一	二・〇	一・九	一・二	四・一	一・二	〇・三	一・〇	二・七	六・〇	五・四	五・四
四	三・六	二・二	五・〇	一・三	一・九	二・二	四・〇	一・六	〇・七	〇・九	三・四	六・九	七・九	八・三
五	二・七	二・二	四・〇	一・〇	二・二	二・〇	五・五	二・〇	〇・六	一・〇	三・八	九・二	一・〇	九・一
六	一・六	一・八	三・五	八・三	九・八	一・〇	三・八	一・一	〇・九	一・四	四・九	二・四	二・四	二・二
七	一・八	一・七	二・二	七・二	一・四	二・五	四・四	一・八	〇・七	〇・六	三・五	一・三	一・六	九・七
八	二・二	三・〇	二・七	八・九	一・五	三・三	三・三	一・一	〇・三	一・〇	三・六	一・五	一・〇	一・〇
九	一・七	一・八	三・六	二・二	二・〇	一・七	二・四	一・二	〇・七	一・一	五・〇	一・〇	七・五	五・九
一〇	一・八	一・九	五・〇	一・五	一・三	二・〇	三・三	一・三	〇・九	〇・七	三・四	六・六	五・一	四・二
一一	一・四	二・五	八・六	二・八	二・四	一・六	四・七	一・五	〇・三	一・二	二・一	三・七	二・八	二・五
一二	一・三	二・二	八・八	二・七	二・六	一・八	三・四	一・二	〇・六	〇・七	一・八	二・四	一・五	一・三

口、最多風位下其ノ平均風速 (自大正八年十月至昭和三年十月平均)

風位風速	風位												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
最多風位	西	西	西	西南	西南	東	西南	西南	西南	西南	西南	西	
其ノ平均風速	四・三	四・三	四・三	三・三	二・九	三・一	二・〇	二・一	二・三	二・八	三・一	四・三	

ハ、最大風速下其ノ風位 (自大正八年十月至昭和三年十月平均)

風速其他	風速其他												備考
	一	二	四	三	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
最大風速	二・八	二・五	一・四	一・四	一・六	一・三	一・六	一・六	一・六	一・八	一・四	一・三	
其ノ風位	東	西	東北	西南	西南	東南	東	東北	東北	東	西	西南	
年卜日	昭和二年	昭和三年	大正二年	大正二年	昭和三年	大正三年	大正二年	大正八年	大正八年	大正八年	大正四年	大正四年	
日	一五	二三	二三	一四	一五	二二	一五	一四	三	五	二二	一七	

ニ、強風以上ノ回数 (自大正八年十月至昭和三年十月平均) (一日二十四回観測)

風位	風位												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
北	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

天 氣	月 別											備 考	
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一		一二
快晴	一四・九	一二・二	九・八	六・四	三・九	二・五	二・七	三・〇	四・二	二・〇	一〇・〇	一四・九	
晴	一〇・四	一〇・八	一二・七	一三・九	一三・三	一二・一	一〇・四	一一・〇	一三・五	一四・四	一五・三	一二・六	
曇	五・七	五・三	八・五	九・七	一三・八	一五・四	一七・九	一七・〇	二二・三	五・六	四・七	三・五	
雨	五・九	五・三	七・二	七・一	二・六	一・七	一七・〇	一五・九	二・四	七・二	八・四	五・二	
雪	八・〇	七・六	七・五	一・五	〇・一				〇・九		二・六	五・四	
雷電				〇・三	一・一	二・八	二・三	二・四	〇・九	一・一			

五

ハ、天氣日數 (自大正八年
至昭和三年十ヶ年平均)

氣 壓	氣 溫	月 別											備 考	
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一		一二
七六・六	(一) 四・〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
七六・九	(一) 二・五													
七四・九	二・五													
七六・六	九・六													
七五・三	一四・四													
七五・九	一八・九													
七五・九	二三・五													
七六・二	二三・八													
七六・四	一八・九													
七三・五	一三・二													
七五・二	五・九													
七六・〇	(一) 一・二													

單位ハ攝氏
ノ度(一印ハ
水點以下ノ
度ヲ示ス
單位耗、海
面ノ度

ホ、氣溫及氣壓 (自大正八年
至昭和三年十ヶ年平均)

風 位											月 別	備 考		
北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	北			北	
北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	一	
北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	二	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	三	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	四	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	五	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	六	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	七	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	八	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	九	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	一〇	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	一一	
西	西	西	西	南	南	南	南	東	東	東	北	北	一二	

四

天氣	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
霧	〇・一	〇・六	〇・六	一・四	二・五	一・五	一・三	〇・六	〇・二	一・〇	〇・三	〇・二	
霜	六・一	一〇・三	九・四	三・〇						一・六	六・〇	〇・三	
烟霧	〇・九	一・九	二・六	三・二	一・八	一	二	五	四	一・〇	三	一・〇	
沖懸荷役不可 能日數 港内一切荷役 不可能日數	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一月ハ降雪 ノ爲七月ハ 風雨ノ爲
月別	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	備考
ト、荷役不可能日數(最近一箇年)													

六

第二、設備

一、沖懸荷役場所及ヒ繫船設備

イ、場所

總水面積	朔望平均干潮面下水深區分	備考
三、一八六、〇〇〇坪	元山港界内ノ總深水面積ニシテ之内 外兩港ニ別チ防波堤以内チ内港トス	

内港	外港
一八六、〇〇〇坪	三、〇〇〇、〇〇〇坪
南北荷揚場前面 大棧橋兩側 繫船壁前面及防波堤内碇泊地一帶	
自六尺 至十二尺 二十一尺 二十四尺 以上	三十三尺

口、繫船設備(繫船浮標其他) ナシ

二、接岸荷役設備

種類	經營者	名稱	位置	延長	干潮面水深	構造	使用料	備考
岸壁	朝鮮總督府	稅關構内	元山通府	一五〇間	二四尺	コンクリート 上部花崗岩	二十四間迄每ニ登 錢噸數一噸ニ付二	
棧橋	朝鮮總督府	海山通府	元山通府	五〇間	二一尺	下部鐵筋コン クリート造上 部板張	無料開放	
稅關棧橋	同	稅關構内	稅關構内	一八間	一〇尺	木造	無料	
陸軍運輸棧橋	陸軍運輸部	稅關構外	南關構外	二五間	一〇尺	同	同	
舊稅關橋	朝鮮總督府	舊稅關構内	舊稅關構内	一〇間	一〇尺	同	同	

七

三、解溜

經營者	名稱	位置	延長	潮望平均干潮面下水深	使用料	備
朝鮮總督府	元山港貯溜	大棧橋西側	六〇、〇〇坪	自六尺至八尺	ナシ	考

四、物揚場

經營者	名稱	位置	延長	潮望平均干潮面下水深	使用料	機械設備	取扱品名	備考
朝鮮總督府	北側物揚場	繫船壁北側	一一〇間	自一二六尺	無料	ナシ	沿岸貨物	
同	南側物揚場	繫船壁南側	一六〇間	同	同	同	檀木、黒炭、木材	
元山府	元山揚場	元山府内	三一一間	自一六尺	同	同	無烟炭、木材	
朝鮮總督府	赤田揚場	元山府内	二四八間六	自六尺	同	同	鐵管其ノ他	
同	舊物揚場	元山府内	二四八間六	自六尺	同	同	鐵管其ノ他	
同	内物揚場	元山府内春日町	一三二間六	自一二五尺	同	同	木材重量品及	

五、運河及河川（但シ河川ノ限界ハ水深一・八米マテトス） ナシ

六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及ヒ橋梁

イ、鐵道及ビ軌道

經營者	名稱	延長	軌幅	貨車電車ニ對スル設備	臨港驛ノ位置及其ノ設備	操車場ノ位置及ビ面積	備考
朝鮮總督府	引込鐵道線	二哩五	四呎八吋五	ナシ	元山府内海岸通ニ鐵道上屋四棟	元山府内海岸通（六、二八〇坪）	

ロ、道路

種類	種類	名稱	延長	幅員	舗裝	備考
構内道路	同		五一四間	八間	ナシ	鐵道構内道路十六間ヲ除キテハ全部稅關構内道路トス
同	同		二七二間	六間	同	鐵道構内道路五二間ヲ除キテハ全部稅關構内道路トス
等外道路	同		八八間	三間	同	
同	同		四五六間	八間	同	
同	同		二八一間	六間	同	本項ノ外目下起工中ニ屬スルモノアリ但シ補裝ナシ

ハ、橋梁

種類	種類	名稱	長	サ	構造	備考
鐵道橋	赤田川鐵道橋		五呎九	一六二呎	橋脚鐵筋コンクリート固定式	プレート型
道路橋	海汀橋		三米二	三六米六	鐵筋コンクリート	
同	海運橋		四米四	五九米四	同	

七、貨物置場及藏置設備

イ、上屋

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	構造	機械設備	使用料	備考
朝鮮總督府	稅關上屋	稅關構內	六	一、七二〇	木造	ナシ	陸上ノ日ヨリ五日間無料六日十日間ハ才又ハ五百斤ニ付一日一錢十六日ヨリ其ノ二倍		
同	鐵道上屋	鐵道構內	四	七〇二	同	同	貨物藏置ノ日ヨリ翌日迄無料三日目ヨリ噸六十五錢百斤七錢荷主保管ハ噸十三錢百斤二錢		
同	稅關假上屋	元山府海岸通	一	一四七	同	同			
同	舊稅關構內	舊稅關構內	一	一五六	同	同			

口、倉庫（但シ個人専用ノモノヲ除ク）

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	備考
元山倉庫株式會社	保稅倉庫	元山倉庫株式會社私設保稅倉庫	稅關構內	一	一八二	一	煉瓦		
同	營業倉庫	岸壁倉庫	大棧橋通	一	一七六	一	木造		
同	同	鐵道構內倉庫	鐵道構內	一	一五〇	一	同		
朝鮮總督府	大棧橋倉庫	鐵道構內	海岸通	一	八〇	一	同		
朝鮮殖産銀行	營業倉庫	本町四丁目	洲洞及海岸通	二	一〇〇	一	同		
元山倉庫株式會社	同	洲洞	洲洞	一	一五一	一	同		
北鮮倉庫株式會社	同	旭町	旭町	四	四〇〇	一	同		

經營者	作業及貨物ノ種類	名稱	位置	地區若ハ建物ノ坪數	備考
國際通運株式會社	營業倉庫	海岸通	一五	九六一	一 木造
十八銀行元山支店	同	春日町	四	一八五	一 同
國際運輸株式會社	同	海岸通	三	五四	一 同
東洋殖産株式會社	同	洲洞	二	二〇	一 同
朝鮮銀行	同	本町	二	八〇	一 同

ハ、保稅工場

經營者	作業及貨物ノ種類	名稱	位置	地區若ハ建物ノ坪數	備考
ライジングサン石油株式會社	加工、製造、手入、揮發油、石油、重油	ライジングサン石油株式會社文坪里私設保稅工場	咸鏡南道德源郡北城面文坪里	油槽 六一五坪 建物 八六四坪 空地 二〇〇坪	一 五坪 一 〇坪 三

ニ、貯木場（水陸共）

經營者	種類	名稱	位置	坪數	使用料	備考
朝鮮總督府	土地	元山港材木置場	稅關廳舍東側	一、三〇〇坪		
同	同	舊土木出張所橫置場	舊土木出張所廳舍南側	三八七坪		

ホ、特殊貨物ニ對スル藏置設備

品名	月												別	備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二		
米及	三四六	三三〇	三〇八	三二八	二八八	一七三	一三七〇	九三	一三三	四七	三四	五五		
大豆	七二四	二五五	一五〇	二〇九	一三八	一三七	四九	五	三五	七八	六〇	二六		
魚類	九	三	二九	五	九	四五	四	四	一四	二五	一八〇	二〇		
黒鉛	一六	一七一	一四二	三四	七九	四五	六四	二六	三九	五三	二四〇	八		
活牛	一七〇	一六九	一九	五七	五九	六〇	四〇	六五	二七	四七	三四	五		
肥料	一三三	一七六	五	三五〇	二五	六	四九	一〇六	八五	四七	二四	二		
車軸	四七	四七	五	一九	一九	四〇	七	六	八	三〇	七	一		
車材	三〇七	三八〇	九五〇	四〇七	六〇七	一七六	六〇四	四〇五	二七	八	八	二		
粟粉	三三	一五	三三	三六	三七	二七	四〇	三九	二九	四	三	三		
砂糖	一七	一七	六	一六	一六	七	一九	三	二〇	七	八	八		
清酒	三三	三三	二	三	六	八	四	五	三	三	三	三		
麥酒	二	四	二八	三七	二四	二五	二九	六	三	五	二	二		
鹽	九	二〇	三五	四七	七五	八	二五	二五	七	三	六	一		
燈油	四〇	三〇	一〇〇	四	二〇	一五	一	二	七	六	一	一		
石炭	九	二〇	三五	四七	七五	八	二五	二五	七	三	六	一		

品名	月												備考	
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二		
セメント	一	一五	四三	二四	九	一	二	三	四	五	六	七		
鐵(條竿及板)	二八	四二	一〇五	四	五二	一四	二四	一八	四二	四三	五七	四		
鐵(筒及管)	八	三	三	八	七	四	四	七	三	五	四	四		
鐵釘	一八	一八	三	五	三	三	四	三	九	三	二	三		
鐵屬品	四	二〇	一六	一	九	三	二	三	二	一	二	二		
織物	三〇	三八	三三	七	三二	五〇	六〇	二五	二	四	二	二		
陶磁器	八	三	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一		
漁網	三	七	一	一	三	二	二	一	二	一	一	一		
紙類	三	五	四	四	五	三	三	三	三	三	三	三		
機械類	四	一〇	七	五	四	三	三	三	三	三	三	三		
其他	六	四	八	一	八	六	九	八	九	八	八	八		
計	二四	一八	三	三	二	二	二	二	二	二	二	二		

二、沖懸荷役
イ、沖懸荷役セル船舶

沖懸荷役セル船舶總數	隻	噸數	噸數(總噸數)	旅客數	備考
沖懸荷役セル船舶總數	一二七		四三三、二八二		
繫泊ニテ荷役セル船舶	一				
錨泊ニテ荷役セル船舶	一三二		一三九、四七五		
旅客ヲ乗降セシメタル船舶	九四		二〇三、八〇七	五二七	

口、沖懸荷役セル貨物

沖懸荷役セル貨物總噸量	噸	主要品名	備考
沖懸荷役セル貨物總噸量	七八、一九六噸	石炭、原鹽、セメント、鐵管、粕	
旅客ヲ乗降セシメタル船舶ノ荷役噸量	一四、九〇二噸	金物、小麥粉、白米、大豆、其ノ他雜貨	

三、接岸荷役

イ、接岸荷役セル船舶

岸壁	隻數	噸數(總噸數)	備考
岸壁	五一三	八一八、一九四	

浮棧	計	噸數	備考
浮棧	計	五一三	
橋		一	
橋		一	
内、旅客ヲ乗降セシメタル船舶		三三〇	六三六
乗降旅客數		八一八、一九四	
		五七六、八八二	

ロ、接岸荷役セル貨物

岸壁	直接積卸噸數	貯積卸噸數	合計	主要品名	備考
岸壁	一八九、四六六	二九、五七六	二一九、〇四二	大豆、米及粳、肥料、粟、セメント、小麥粉、魚	
浮棧				鐵物、織物、酒類、砂糖、其ノ他雜貨類	
計	一八九、四六六	二九、五七六	二一九、〇四二		
内、旅客ヲ乗降セシメタル船舶ノ荷役噸量	一〇二、〇八二	二三、九三四	一二六、〇一六	大豆、米及粳、肥料、油、類、粟、セメント、小麥粉、鐵物、織物、酒類、砂糖、其ノ他雜貨類	

四、物揚場ニテ積卸セル貨物

ナシ

五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物

噸數	主要品名	備考
二五六、五二三	鹽、石炭、セメント、粕、油類、其ノ他雜貨	内地通航船ニ依ル沿岸貨物ハ含マズ
六、六三一	發電機、鐵管及附屬品	

主トシテ本船備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物
主トシテ起重機其ノ他港灣備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物
主トシテ人力ニテ積卸セル貨物

六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物 ナシ
七、上屋、倉庫、稅保工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物

貨物噸數	貨物移出噸數	主要品名	貨物移入噸數	主要品名	備考
上屋 一八一、五三七	五九、九五六	大豆、玄米	一二一、五八一	粟、綿布、小麥粉、酒類、雜貨	
倉庫 一四八、五七五		粟、粳、小麥、干	一、七五九	揮發油、石油、重油	
保稅工場 二八、六一七		明太、織物	二八、六一七	鉞力板、釘繩、針金	
貯木場 五、二七三			五、二七三	函材料、空ドラム	
野積場 四、四〇六			四、四〇六	木材	
貯炭場 一一、〇七二	一、二二二	無烟炭	九、八五〇	鐵管、タービン及同附屬品、機械	

油槽	噸數	主要品名	備考
油槽 三一、七六五			揮發油、石油、重油
危險物置場 八、〇一一			爆藥、火藥、雷管、石油類
其他 一〇五、四四四	五一、七七三		五三、六七一

八、船車間直接積卸貨物

噸數	主要品名	備考
八一	機械類	

九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

噸數	主要品名	備考
三一五、七四三	米及粳、大豆、肥料、油類、粟、セメント、小麥粉、織物、酒類、砂糖、鐵物、其ノ他雜貨類	

第四、荷役労働者 (種別人員調)

種類	人員		備考
	常備	臨時	
沖仲仕 (船内人夫)	一六五	一五〇—二〇〇	現在船内人夫濱仲仕ノ區別ナク其ノトキノ必要ニ應ジ流用ス
荷揚仲仕 (濱仲仕)	九一	五〇	
陸仲仕			

第五、荷役關係業者

一、船内荷役請負業者 (Stewalores)

人名又ハ會社名	營業所	備考
通 運 組	元山府海岸通	
國 際 組	同	

二、貨物船積業者 (Shipping Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備考
通 運 組	元山府海岸通	
國 際 組	同	

三、貨物陸揚荷捌業者 (Landing Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備考
通 運 組 荷 捌 所	元山府海岸通及稅關構内	
國 際 組 荷 捌 所	同	
富 田 商 會 作 業 所	稅關構内	

四、船舶碇繋場業者 ナシ

五、回漕業者 (Forwarding Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備考
國際通運株式會社元山支店	元山府旭町	
國際運輸株式會社元山支店	元山府海岸通	
玉 野 回 漕 店	元山府旭町	
マ ル ミ ッ 運 送 店	元山府海岸通	
發 動 機 船 組 合 回 漕 部	元山府旭町	
① 同 漕 店	元山府上里	
平 川 回 漕 店	元山府旭町	
元 山 帆 船 組 合 回 漕 部	同	
船 井 回 漕 店	同	

六、普通倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
元 山 倉 庫 株 式 會 社	元山府海岸通	
北 鮮 倉 庫 株 式 會 社	元山府旭町	
國 際 通 運 株 式 會 社 元 山 支 店	元山府海岸通	

七、保稅倉庫業者

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
元山倉庫株式會社			元山府海岸通		

八、保稅工場業者

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
ライジングクサン石油株式會社			成鏡南道德源郡北城面玄坪里		

九、海事檢定業者 (Surveyor) ナシ

一〇、解船業者

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
國際運 組			元山府海岸通		
國際 組			同		

一一、檢才業者 (Measurer) ナシ

一二、曳船業者

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
國際通運株式會社元山支店			元山府海岸通		

一三、貨物受渡立會業者 (Tally man)

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
國際 組			元山府海岸通及稅關構内		
國際 組			同		

一四、陸上運送業者

人名又ハ會社名	營	業	所	備	考
國際通運株式會社元山支店陸送部			元山府海岸通		
國際運輸株式會社元山支店陸送部			同		
丸成運送店			元山府旭町		
玉林運送店			元山府本町		
玉野運送店			元山府本町		
植田運送店			同		
丸市廣信運送店			元山府海岸通		

人名又ハ會社名	營業所	備考
丸加和運送店	元山府旭町	
丸興仁光運送店	元山府本町	
丸家運送店	元山府旭町	
丸日國勢運送店	元山府海岸通	
丸ルウ運輪會社	元山府春日町	
丸ルミツ運送店	元山府海岸通	
永信運送店	元山府旭町	
鈴木運送店	元山府本町	

釜山港荷役調査一般

第一、氣象

一、潮位

満潮位	干潮位	差	備考
四尺五寸	零	四尺五寸	朔望平均
五尺五寸	一尺	六尺五寸	最大平均
一尺	一尺	二尺	差
			備考

二、風位及風速

イ、風位回數 (自大正八年十月至昭和三年十月年平均)

風位	月別											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
北	三五	三五	三〇	三三	一九	一八	一〇	二〇	一九	三六	三〇	三四
北々東	一五	一四	一七	一三	九	一四	八	九	三三	二六	一六	一九
東	五	三	七	七	九	七	六	二	三	一四	六	七
	%											

風位	北	月	別	風速其他	最大風速	其ノ風位	年	
							日	年
一	一	一	一	一	一九三	北々西	大正元	二
一	二	一	一	二	一八七	同	明治四〇	三
一	三	一	一	三	二〇二	同	同	三
一	四	一	一	四	三・二	北西	大正三	三
一	五	一	一	五	二六〇	南々西	明治三	六
一	六	一	一	六	二二八	南	大正二	六
一	七	一	一	七	一九六	東	同	七
一	八	一	一	八	一六二	北	明治三	八
一	九	一	一	九	三・四	南	大正二	七
一	一〇	一	一	一〇	一五八	南西	明治三	七
一	一一	一	一	一一	一九四	北西	同	七
一	一二	一	一	一二	一八・二	北西北西	大正二	七
				備考				

二、強風以上ノ回数 (自大正八年十ヶ年平均) (至昭和三年十ヶ年平均)

八、最大風速ト其ノ風位 (自明治廿八年十ヶ年平均) (至昭和三年十ヶ年平均)

風位風速	月	別	備考	最多風位	其ノ平均風速
二	同	五・五			
三	北	四・四			
四	同	三・七			
五	北々西	三・四			
六	北	三・四			
七	南	四・一			
八	北	三・六			
九	北々西	三・四			
一〇	北	三・五			
一一	北々西	三・八			
一二	同	五・三			
			備考		

口、最多風位ト其ノ平均風速 (自大正八年十ヶ年平均) (至昭和三年十ヶ年平均)

風位	月	別	備考	東	東	南	南	南	南	西	西	西	北	北
一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
二	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
四	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
五	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
六	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
七	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
八	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
九	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一〇	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一一	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
一二	一	一	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
				%										

天氣	月												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
霜	八	七	六	〇									
烟霧	四	二	三	四	一〇	三	六	九	四	八	六	三	

別

ト、荷役不可能日數(最近一箇年)

月別	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
沖懸荷役不可能日數												
港内一切荷役不可能日數												

備考

第二、設備

一、沖懸荷役場所及ヒ繫船設備

イ、場所

總水面積	湖望平均干潮面下水深區分	備考
二、五五〇、〇〇〇坪	六 尺未滿	七六、一〇〇坪
	十二尺同	三七三、〇〇〇坪
		南港及防波堤外ヲ除ク

十八尺同	八六八、五〇〇坪
二十四尺同	一、四五一、〇〇〇坪
三十尺同	二、〇四四、五〇〇坪
三十六尺同	二、一五四、〇〇〇坪
四十二尺未滿	二、四二四、〇〇〇坪
坪四十尺以上	一二六、〇〇〇坪

ロ、繫船設備

種類	經營者	名稱	位置	箇數	備考
片棧橋	朝鮮總督府	釜山第一埠頭南側棧橋	第一埠頭南側	一	三千噸級二隻
同	同	同 上北側棧橋	同 上北側	一	三千、五千、七千各一隻
同	同	釜山第二埠頭南側棧橋	第二埠頭南側	一	七千、二萬各一隻
同	同	同 上北側棧橋	同 上北側	一	三千一隻、七千二隻
浮棧橋	朝鮮汽船株式會社	同 上北側棧橋	北濱船溜内	一	二百噸級二隻

二、接岸荷役設備

種類	經營者	名稱	位置	延長	水面積	潮望平均干潮面水深	構造	使用料
棧橋	朝鮮總督府	第一埠頭南側棧橋	第一埠頭南側	一五二間	二四尺	二四尺	鐵造	二十四時間迄 每三登薄噸數 一噸ニ付二錢
同	同	第二埠頭南側棧橋	第二埠頭南側	二〇二間	二七尺	三六尺	鐵造	同
同	同	北側棧橋上	同上北側	二〇二間	二七尺	同	鐵造	同
同	同	南側棧橋上	同上北側	二〇二間	同	同	鐵造	同
同	朝鮮汽船株式會社	北濱船溜内	北濱船溜内	七〇尺	八尺乃至 二〇尺	同	鐵筋 コンクリート	同

浮棧橋外ニ二箇アルモ荷役ニ關係ナシ

三、解溜

經營者	名稱	位置	水面積	潮望平均干潮面水深	使用料	備考
朝鮮總督府	漁港船溜	漁港内	七、〇〇〇坪	一二尺		
同	北濱同	北濱	六、五〇〇坪	一五尺		
同	草梁同	草梁	一七、〇〇〇坪	一八尺		
同	釜山鎮同	釜山鎮	一五〇、〇〇〇坪	一八尺		

四、物揚場

同	絶影島同	絶影島	二五、〇〇〇坪	四尺		
同	薩摩堀同	同	四、五〇〇坪	四尺		

經營者	名稱	位置	延長	潮望平均干潮面水深	使用料	機械設備	取扱品名	備考
總督府	稅關本關構内物揚場	稅關構内	一八五間	六尺		起重機二基		
同	第一埠頭物揚場	同	八七間	二七尺		起重機二基		
同	第二埠頭物揚場	同	一三六間	一八尺		同		
釜山府	北濱船溜物揚場	北濱	二八一間	六尺		同		
總督府	藏前町地先物揚場	大倉町三丁目	五〇間	六尺		起重機一基		
同	草梁鐵道用地物揚場	草梁町	六八間	六尺		起重機一基		
同	釜山鎮鐵道用地物揚場	釜山鎮	三三間	六尺				

五、運河及河川 (但シ河川ノ限界ハ水深一・八米マテトス) ナシ

六、臨港内ニ於ケル鐵道、軌道、道路及ビ橋梁

イ、鐵道及軌道

經營者	名稱	延長	軌	幅	貨車電車 對スル設備	臨港驛ノ位置 及其ノ設備	操車場ノ位 置及ビ面積	備考
鐵道局	一〇哩	四呎八吋半						第一、二兩埠頭及 草梁藏前線、釜 山鎮引込線ヲ含ム

ロ、道路

種類	名稱	延	長	幅	員	舗	裝	備	考
	第一、第二埠頭間道路	一〇一	間		一〇間	張石			
	第二埠頭道路	二〇二	間		五間五	碎石			
	第二埠頭基部道路	一八一	間		三間	碎石、アスファルト			
	中央道路	一〇〇	間		一三間	碎石			
	南側道路	一五〇	間		五間五	同			

ハ、橋梁 ナシ

七、貨物置場及藏置設備

イ、上屋

經營者	種類	名稱	位	置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	使用料	備考
釜山稅關	官設	稅關上屋	稅關構內	第一埠頭	一六	七、六五二	一	木造		五日間無料以上十日間十五 日方尺ニ付一日一錢十五 日經過後ハ一日同二錢	
鐵道省	同	指定上屋	第一埠頭	第一埠頭	一	六〇〇	同	同			
鐵道局	同	同	釜山驛構內	第一埠頭	四	九八四	同	同			
同	同	同	同	同	五	一、八〇二	鐵造				
同	同	同	同	同	三	三八	同				
釜山稅關	同	同	稅關構內	同	三	三八	同				

ロ、倉庫 (但シ個人專用ノモノヲ除ク)

經營者	種類	名稱	位	置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	備考
朝鮮興業株式會社 釜山支店	同	同	大倉町	同	二〇	一、九九一	同	木造		內、二棟三一四坪 私設保稅
釜山共同倉庫株式會社	同	同	榮町	同	三	四七一	同	同		
同	同	同	大倉町	同	一四	一、四六六	同	同		
朝鮮商業銀行釜山支店	同	同	榮町	同	一〇	四七八	同	煉瓦造		煉瓦造 一、二三二坪
同	同	同	稅關構內	同	三	二五二	同	煉瓦造		私設保稅 一、三五五坪
株式會社大池回	同	同	大倉町	同	一〇	八一三	同	煉瓦造		煉瓦造 五、一四坪



經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	備考
同	南鮮倉庫株式會社	榮町	一	二	三一五		煉瓦造		
同	鐵道局營業倉庫	草梁町	二	二	五二五		木造		
		山釜驛構内	二		七四二		木造		

八、保税工場

經營者	作業及貨物ノ種類	名稱	位置	地區若ハ建物ノ坪數	備考
立石商店	原油、重油、罐詰仕分 改装	立石商店 保税工場	絶影島青鶴洞	二五坪	私設
ライジングサン 石油株式會社	原油、重油ノ混合改 装、手入	ライジングサン 保税工場	同 湍仙町	二八一坪	同
冲永商店	瓦斯、燃料、用變性酒 精製造及酒精改装	冲永商店 保税工場	大廳町二丁目	一八坪	同

二、貯木場（水陸共）税關荷置場ヲ使用シツ、アルモ特ニ貯木場ト稱スルモノナシ
ホ、特殊貨物ニ對スル藏置設備
貯炭場及爆發物藏置ノ爲當業者ガ各自設備セルモノノ外一般貨物藏置ノ爲ニ設ケタル設備ナシ

種類	經營者	名稱	位置	坪數	構造	機械設備	保管料	主要出入品名	收容能力	備考
油槽	立石商店ライジン グサン石油會社	絶影島	三〇六	鐵板造				重原油		私設 保税工場

八、起重機其ノ他ノ荷役装置

種類	經營者	位置	能力	動力ノ種類	主ナル取扱貨物	使用料	備考
定置	税關	第二埠頭基部	三噸	人力	木材、鐵骨、機械類	一時間毎 四〇錢	
同	同	税關構内	三噸	同	同	同	
同	同	第二埠頭基部	一〇噸	同	同	六〇錢	
同	同	税關構内	一〇噸	同	同	同	
同	同	第二埠頭突端	三〇噸	人力	同	七圓	
浮装	同	港内	三〇噸	電力	同	五圓	
定置	釜山府	北濱	一噸五	人力	同	同	
同	同	草梁海岸	五噸	同	同	同	
同	鐵道局	同	一五噸	同	同	一噸十錢、一箇三噸以上 五割増、五噸以上十割増	貨車積卸 専用

九、ハンド・トラック其ノ他陸上運搬用具 主トシテ牛車ヲ使用シ、特記スベキ「ハンド・トラック」ナシ

一〇、陸上小運送機關（臨港地域ニ出入スルモノ）

種類	數	總積載量	備考
自動車	一三	三三噸	

種類	數	總積載量	備考
牛車	三五八	三五八噸	昭和二年ノ調査ニ依ル
小車	一、七〇五	二、〇〇〇噸	
其他	—	—	

第三、荷役設備利用狀況

- 一、陸上小運送機關ニ對スル設備 ナシ
- 一、利用一般
- イ、港内積卸貨物一箇年總噸數
- ロ、同上 月割噸數

主要品名	月												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
朝鮮玄米	四、三三四	二、六六二	一、七七一	二、五五二	一、五二九	二、三八二	二、二九五	二、二四五	一、〇四二	一、五〇二	三、四六一	五、一〇〇	一個五才トス
同 精米	二、三〇〇	二、三三三	二、四八〇	二、四六七	二、三七一	一、九三四	二、三三三	二、二六七	二、二七二	二、三三三	一、七四七	三、八二五	同
臺灣米	一、二九四	三、九	二、〇五	七、四	—	一、七三	一、五三	一、三五	四、	一、六二	一、三	九、四	一個六才トス
外國米	九、五	二、五四	五、二九	六、五七	二、五〇	五、九七	一、〇九八	三、四六	二、九一	二、三六	一、四	三、八三	同
小麥粉	一、七三	三、九	八、五	九、七	一、二六	八、〇	八、五	八、〇	九、八	五、〇	三、九	五、〇	一個一才トス

砂糖	月												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
魚類	三、五	三、七	四、五	三、六	三、八	三、六	二、七	二、七	四、〇	三、七	三、五	五、九	同 三才トス
綿織糸	九、五	一、六	一、〇	七、〇	四、五	六、一	一、〇	九、六	六、五	一、四	一、八	一、〇	一六八〇斤
鐵(條干板)	八、七	八、七	五、二	一、八	二、六	一、三	—	二、七	七、二	一、八	四、〇	七、一	一個二〇斤
同(電鍍板)	一、三	一、三	一、五	一、三	一、二	一、九	一、三	一、七	一、九	二、〇	一、九	一、九	同 三〇斤
同(筒管)	二、七	三、五	一、〇	八、九	四、	九、五	一、五	二、二	一、五	一、五	一、八	一、五	同
肥料	二、六	三、三	二、四	三、四	三、六	三、七	二、八	二、六	二、五	一、四	一、四	一、七	一六八〇斤
其他	六、八	八、〇	一、〇	九、〇	八、八	八、〇	八、八	八、八	九、三	二、〇	一、九	一、八	一噸トス
計	一、五	一、四	一、五	一、五	一、四	一、三	一、三	一、三	一、三	一、四	一、三	一、四	

備考 本表ニハ陸路輸出入スル貨物ノ噸量ヲモ含ム

二、沖懸荷役

イ、沖懸荷役セル船舶

沖懸荷役セル船舶總數	汽船	帆船	隻數	噸數(總噸數)	旅客數	備考
沖懸荷役セル船舶總數	汽船	帆船	隻數	噸數(總噸數)	旅客數	備考
一、二八四	二、四六七	二、四六七	一、八七九	五三、三七〇	—	—
—	—	—	—	—	—	—

噸	噸數	主要品名	備考
主トシテ本船備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	一、〇六八、八八〇	米穀、石炭、鹽、雜貨	見込額ナリ
主トシテ起重機其ノ他港灣備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	三、六五四	機械類	構内備付起重機ノ分
主トシテ人力ニテ積卸セル貨物	七〇八、九三六	米穀雜貨	見込額ナリ

六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物 ナシ
 七、上屋、倉庫、稅保工場、貯木場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物

貨物噸數	貨物噸數	主要品名	貨物噸數	主要品名	備考
上屋	八九三、九四四	穀物海產物、肥料	三八九、七一九	米、綿、織糸、麥粉、雜貨	私設稅倉庫
倉庫	一五、八一六		一五、八一六	織物、酒類	
稅保工場	一四、八二二		一四、八二二	礦油	
貯木場					
野積場	五六八、八一二	木材、木炭	三一五、五六〇	竹材、鹽、木材	稅關構内屋外、北濱、草梁、牧之島、其他
貯炭場	一七三、五四四		一七三、五四四	石炭	
油槽					
冷藏庫					

危險物置場	二、〇〇〇		二、〇〇〇	礦油	
其他					

八、船車間直接積卸貨物

噸數	主要品名	備考
一七三、〇三〇	穀物、作蠶糸、織物、綿織糸	鐵道連帶貨物

九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

噸數	主要品名	備考
調査困難ナリ		

第四、荷役労働者 (種類別人員調)

種類	人員		備考
	常備	臨時	
沖仲仕 (船内人夫)	三五〇		春秋季ノ平均數ニシテ穀期ニハ約三割内外ヲ増加ス
荷揚仲仕 (濱仲仕)	一二〇	六五〇	
陸仲仕			

第五、荷役關係業者

- 一、船内荷役請負業者 (Stewards)
 - 本港ニハ特ニ船内荷役請負ヲ專業トスルモノナク各船會社、回漕業者ノ兼業ナリ
- 二、貨物船積業者 (Shipping Agents)
 - 各船會社回漕業者兼業ス
- 三、貨物陸揚荷捌業者 (Landing Agents)
 - 海運業者陸運業者ハ自己取扱貨物ニ對シ夫々陸揚荷捌ニ從事ス
- 四、船舶碇繋場業者 ナシ
- 五、回漕業者 (Forwarding Agents)

人名又ハ會社名	營業	所	備考
株式會社大池回漕店	同	大倉町二丁目	
大阪商船會社 屬株式會社釜山商船組	同	同 四丁目	
株式會社澤山兄弟商會	同	同 三丁目	
朝鮮郵船株式會社釜山支店	同	同 二丁目	
國際運送株式會社支店	同	同 三丁目	
國際通運株式會社支店	同	同 四丁目	
朝鮮汽船株式會社	同	同 一丁目	

朝鮮海運株式會社	同	同 二丁目	
統營海運株式會社	同	同 二丁目	
マルタ回漕店	同	同 二丁目	
巨濟島海運商會	同	本町二丁目	
光本小四郎	同	大倉町一丁目	
今林伊藏	同	同 二丁目	
竹内孔造	同	同 二丁目	

沿岸貿易貨物扱ナリ

六、普通倉庫業者

人名又ハ會社名	營業	所	備考
株式會社大池回漕店	同	大倉町二丁目	
朝鮮興業株式會社支店	同	同 一丁目	
釜山共同倉庫株式會社	同	榮町三丁目	
南鮮倉庫株式會社	同	草梁町	
株式會社朝鮮商業銀行支店	同	榮町一丁目	
鐵道局	同	釜山驛構内	

七、保税倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
朝鮮商業銀行釜山支店	稅關構内(大倉町四丁目)	
朝鮮興業株式會社釜山支店		
榮町		

八、保稅工場業者

本港ニハ官設保稅工場ナク又私設保稅工場モ他人ノ爲ニ營業スルモノナシ

九、海事檢定業者 (Surveyor)

人名又ハ會社名	營業所	備考
山本海事々務所	幸町一ノ一八	

一〇、解船業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
株式會社大池回漕店	大倉町二丁目	
株式會社釜山商船組		
株式會社澤山兄弟商會		
國際通運株式會社釜山支店		
丸角組		

釜山物産組	同	四丁目
朝日組釜山支店	同	二丁目

右ノ外鐵道省モ自己ノ貨物積卸ノ爲解船ヲ所有ス

一一、檢才業者 (Measurer)

檢才ハ稅關又ハ府(府營荷揚場)之ヲ行フノミニテ特ニ營業トスルモノナシ

一二、曳船業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
株式會社大池回漕店	大倉町二丁目	
株式會社釜山商船組		
株式會社澤山兄弟商會		
	同	四丁目
	同	三丁目

一三、貨物受渡立會業者 (Tally man) ナシ

一四、陸上運送業者 (主ナルモノ) 總數約五十アリ

人名又ハ會社名	營業所	備考
國際通運株式會社釜山支店	大倉町四丁目	

人名又ハ會社名	營業所	備考
國際運輸株式會社釜山支店	大倉町三丁目	
株式會社大池同漕店	二丁目	
株式會社釜山商船組	四丁目	
合資會社日ノ出組運送部	四丁目	
岩橋運送店	二丁目	
朝日運送組	四丁目	
釜山物産組	四丁目	
檜崎運送店	同 四丁目	
丸海運送店	同 四丁目	
	南濱町一丁目	

木浦港荷役調査一般

第一、氣象

一、潮位

滿潮位	干潮位	差	朔望平均	最大平均	差	備考
四、〇九米	〇、〇〇米	四、〇九米	四、〇九米	四、五五米	〇、四六米	
				〇、四六米	〇、四六米	
				五、〇一米		

二、風位及風速

イ 風位回數 (自明治四十年至昭和四年二十三年平均) (%)

風位	月別											
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
北北北	三	三	三	二	一	一	二	四	七	五	五	六
々々	六	四	三	一	一	一	二	四	六	五	七	八
東東東	五	四	三	三	二	三	二	四	七	五	五	六

強風	種別	月												備考						
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二							
一〇	一	九	二	一〇	三	四	六	四	二	三	二	四	五	九	九	一〇	一	一	一	一
風速	一〇—一五秒																			

五一

二、暴風日數 (自明治四十年至昭和四十年二十三箇年平均)

年	日	其ノ風位	最大風速	月												備考				
				一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二					
大正九年	三	北々	三、三																	
同四年	二七	北々西南々東	一九、七																	
明治四十四年	六	南西	二五、六																	
大正五年	七	北々西南々東	三、四																	
同二年	九	南々東	二〇、〇																	
明治四十四年	二	南	三、六																	
大正四年	二四	南々東	二四、一																	
同三年	二	北	三、八																	
同四年	二七	北	三、五																	
明治四十二年	二	北西	二、九																	
昭和二年	八	北々西	二〇、四																	

八、最大風速ト其ノ風位 (自明治四十年至昭和四十年二十三箇年間)

其ノ平均風速	最多風位	月												備考								
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二									
五、四	北	五、五	北	五、六	北	四、六	北	三、九	北々西	三、三	南	四、〇	南	三、五	南	三、八	北	三、八	北	四、七	北	五、〇

口、最多風位ト其ノ平均風速 (自明治四十年至昭和四十年二十三箇年平均)

風位	月												備考									
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二										
北	八	八	九	九	一〇	一〇	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
北々	三	六	七	二〇	一八	一三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
西	〇	〇	一	一	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
西南	〇	〇	一	一	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
南々	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
南々東	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
東	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
東	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
東北	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
東	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

五〇

第二、設備
一、沖懸荷役場所及繫船設備
イ、場所

種別	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
沖懸荷役不可能日數			—									二	
港内一切荷役不可能日數		—	—									二	

ト、荷役不可能日數（昭和四年中）

種別	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
降水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
降雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
雷電	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
霧	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
霜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
快晴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

天氣	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
曇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
晴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

ハ、天氣日數（自明治四十年至昭和四年二十三箇年平均）

氣溫	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
氣壓	七六八、九	七六七、六	七六五、八	七六二、四	七五九、〇	七五五、七	七五三、九	七五〇、五	七四七、七	七四四、三	七四一、一	七三八、七	
氣溫	一〇、一	一〇、六	一一、二	一一、四	一一、三	一一、二	一一、一	一一、〇	一一、〇	一一、〇	一一、〇	一一、〇	

ホ、氣溫及氣壓（自明治四十年至昭和四年二十三箇年平均）

種別	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
颯風	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
烈風	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
同	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

種類	經營者	名稱	位置	延	長	水干潮面下深	構造	使用料	備考
浮棧橋	朝鮮總督府	渡船棧橋	木浦府港町	同	二、三三米	干潮面以下	木造		
棧橋	同	給水棧橋	同	同	一、二七米	同			
同	製水會社	給水棧橋	同	同	一、一三米	同			
			榮町	同	二、二七米	同			
			港町	同	一、四米	同			
			長巾	同	二、八五米	同			
			長巾	同	二、〇米	同			
			長巾	同	二、〇米	同			

三、船溜

經營者	名稱	位置	水面積	下湖望平均干潮面深	使用料	備考
全羅南道	船溜	木浦府溫錦洞	五、三四六平方米	干潮面上二米		特ニ船溜ノ設備ナク港内一體ニ亘リ使用セラレル便宜上船溜ヲ揚上セリ

四、物揚場

經營者	名稱	位置	延	長	下湖望平均干潮面深	使用料	機械設備	取品名主	備考
全羅南道	物揚場	木浦府溫錦洞	同	五、四四米	干潮面上二米				
同	同	同	同	一、〇九米	同				
同	同	同	同	一、三〇九米	同				

朝鮮總督府	同	同	同	三、六三米	同				
朝鮮總督府	同	同	同	四、九米	同				
朝鮮總督府	同	同	同	三、三六米	同				
朝鮮總督府	同	同	同	三、一六米	同				
朝鮮總督府	同	同	同	二米					
朝鮮總督府	同	同	同	二米					

五、運河及河川（但シ河川ノ限界ハ水深一・八米マデトス） ナシ
 六、臨港地域内ニ於ケル鐵道、軌道道路及橋梁
 イ、鐵道及ビ軌道

經營者	名稱	延長	軌幅	貨車電車對スル設備	臨港驛ノ位置及其ノ設備	操車場ノ位置及面積	備考
朝鮮總督府	鐵道引込線	一哩ノ四分一	四呎八、五吋		木浦府松島町		木浦驛ヨリ海岸通貨物取扱所迄

ロ、道路 ナシ
 ハ、橋梁 ナシ
 七、貨物置場及藏置設備
 イ、上屋

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	構造	機械設備	使用料	備考
朝鮮總督府	官設	貨物上屋	木浦府港町	二	四四八	木造平家建			内六四坪ハ官設保稅倉庫ニ充當ス
同	同	構内上屋	同	一	八八	木造瓦葺張建			木浦驛發着貨物用

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	備考
朝鮮總督府	官設	保稅官倉	木浦府港町	一	六四	一	木造丹平家葺		上屋ノ一部ヲ區劃充當ス
同	同	保稅倉庫	松島町	一	一〇〇	一	木造鉛平家葺		發着貨物用
國際通運株式會社	自營	私設倉庫	同	一	一一七	一	木造ト家葺		倉庫ノ一部ヲ區劃充當ス
福田回漕部	同	倉庫	海岸通	二	一九六	一	木造家葺		
山田林平	同	同	寶町	一	一二	一	木造丹平家葺		
谷村回漕部	同	同	壽町	二	一〇八	一	瓦造平家葺		
朝鮮汽船株式會社	同	同	壽町	一	六六	一	同		
社木浦支店	同	同	曙町	一	五七	一	木造鉛平家葺		
辰馬海運株式會社	同	同	榮町	二	一八	一	木造平家葺		
二木松次郎	同	同	同	一	一〇	一	同		
日鮮海運株式會社	同	同	同	一	二〇	一	木造瓦葺		
社木浦支店	同	同	同	一	一五	一	木造瓦葺平家葺		
近藤義一	同	同	常盤町	一	一五	一	同		

島澤光治	同	同	壽町	一	一〇	一	土藏瓦葺		
都築唯一	同	同	湖南町	一	一六	一	末造瓦葺板張		
內谷萬平	同	同	錦町	六	三一六	一	瓦葺亞鉛張		
高津福太郎	同	同	祝町	一	二三	一	木造鈦丹葺		
森田泰吉	同	同	榮町	二	八二	一	木造瓦葺平家葺		
森酒井	同	同	幸町	二	二三四	一	木造亞鉛葺		
株式會社朝口精米所	同	同	湖南町	三	二三四	一	木造鈦丹葺平家葺		
文在詰	同	同	寶町	二	一一〇	一	木造鈦丹葺		
近清又平	同	同	旭町	一	一〇六	一	木造瓦葺鈦丹葺		
井上留吉	同	同	寶町	二	一〇〇	一	木造瓦葺鈦丹葺		
直場健三	同	同	錦町	一	七七	一	土藏鈦丹張		
遠藤役治	同	同	榮町	一	二〇	一	土藏亞鉛張		
木下千重治	同	同	海岸通	一	六八	一	木造瓦葺平家葺		
朝鮮興業株式會社	同	同	幸町	三	九三	一	木造平家葺		
社木浦支店	同	同	大正町	三	二二三	一	木造瓦葺葺		
鎌田産業株式會社	同	同	寶町	三	二二三	一	煉瓦造瓦葺葺		
社木浦支店	同	同	常盤町	三	九八	一	瓦葺平家葺		
農事株式會社	同	同	海岸通	二	一五	二	木造平家葺		四八坪 六七坪

八、保稅工場

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	設備	備考
南北株式會社	自營	倉庫	海岸通	四	三八二	一	木造 鈦瓦 葺		二一九坪
朝鮮株式會社	同	同	海岸通	一七	一四六	一	木造 鈦瓦 葺		四九四坪
朝鮮棉花同業會	同	同	港町	二	一四四	一	木造 鈦瓦 葺		九二二坪
日華製油株式會社	自營	同	旭海岸通	一	二〇三	一	木造 鈦瓦 葺		四九四坪
木浦倉庫金融株式會社	自營	同	幸町	五	七九三	二	煉土 瓦藏 葺		六九九坪
全羅南道農會農業倉庫	官設	倉庫	港町	二	一三四	一	鐵鋼コンクリート 葺		九四九坪
三共倉庫運輸株式會社	營	倉庫	曙町	三	一三二	一	木造 鈦瓦 葺		七七八坪
守田千助	自營	同	柳町	六	一六〇	一	木造 鈦瓦 葺		一四六坪
木浦製氷冷蔵株式會社	同	同	常盤町	二	四八	一	木造 鈦瓦 葺		一四六坪
片山繁實	同	同	祝町	二	三三	一	木造 鈦瓦 葺		一三〇坪
若狹谷齋二	同	同	海岸通	一	二四	一	木造 亞鉛葺		一三〇坪
其他	一	一	一	一五六	四、三九	一	一		

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	設備	備考
朝鮮實業株式會社	自營	倉庫	木浦府祝町	五	二六一	一	木造 瓦葺 鈦瓦 葺		二六三坪
東洋拓殖株式會社	同	同	祝町	三	二四四	一	木造 瓦葺 亞鉛葺		二六三坪
合資國武農場	同	同	大成洞	二	一七〇	一	木造 瓦葺 平家建		二五二坪
村上直助	同	同	福山町	三	五七	一	瓦葺 平家建		二五二坪
松前義三	同	同	榮山町	四	一八八	一	木造 鈦瓦 葺		一五二坪
松井邑次郎	同	同	壽町	六	一一一	一	煉土 瓦葺 葺		五五二坪
山内平助	同	同	福山町	六	一一一	一	木造 鈦瓦 葺		五五二坪
十八木浦支店	同	同	木浦臺	一	一三八	一	鈦瓦 葺 葺		四九二坪
銀行木浦支店	同	同	本町	一	一七八	一	木造 瓦葺 葺		四九二坪
湖南木浦支店	同	同	常盤町	一	五六	一	煉土 瓦葺 葺		二九二坪
朝鮮木浦支店	同	同	榮町	二	一三九	一	木造 瓦葺 葺		二九二坪
中上國二郎	自營	同	寶町	三	一一五	一	木造 鈦瓦 葺		二九二坪
藤森文祐	同	同	海岸通	三	五三	一	木造 鈦瓦 葺		二九二坪
渡邊彌太郎	同	同	祝町	二	七八	一	木造 平家建		四六坪

經營者	作業及貨物ノ種類	名稱	位置	坪數	構造	主要出品	備考
富永ミヨ	外國貨物タル原油又ハ重油混合	富永ミヨ私設保稅工場	靈巖郡昆一終面龍塘里地先	一九、一七二坪			地區若ハ建物ノ數
							備考

二、貯木場 ナシ
ホ、特殊貨物ニ對スル藏置設備

種類	經營者	名稱	位置	坪數	構造	主要出品	備考
野積場	ナシ						
貯炭場	ナシ						
油槽	日油木浦販賣所	私設倉庫	靈巖郡昆一終面龍塘里	一九坪	鐵板製タン	原油及	保稅工場タル油槽三基ヲ含ム
冷蔵設備	木浦製氷冷蔵株式會社	倉庫	木浦府港町	二四坪	木造瓦葺	鮮魚	二棟 二四坪
危險品置場	丸岡佐次郎		務安郡二老面山亭里	一二〇坪	煉瓦建	火藥	此建坪 二四坪
同	スタンダー		木浦府松島町三四五	三二〇坪	鐵鋼材	石油及揮發油	同 二六六坪
同	英油販賣所		同	三三三坪	セメント瓦葺トタン葺	同	同 二〇坪
同	日油木浦販賣所		靈巖郡昆一終面龍塘里	一二〇坪	鐵トタン葺	同	同 一〇坪
同	中野秀夫		島務安郡高下	一八坪	木造平家建トタン葺	石油	此建坪 一八坪

八、起重機其他ノ荷役裝置 ナシ
九、ハンド・トラック其他陸上運搬用具 ナシ

一〇、陸上運搬機關

種類	數	總積載量	備考
自動車	一	米(四斗入) 三十噸	負物自動車
馬力車	三	市内運搬ノ場合 六、〇〇〇斤	荷馬車
小車	六	市外同 三、六〇〇斤	吉田組
其他	一八	四九四、四〇〇斤	手荷車

一一、陸上小運送機關ニ對スル設備

用具ノ種類	設備ノ種類	施設者	名稱	位置	使用料	備考
自動車		内谷萬平	トラック	木浦府幸町	一日	自家用
馬力車		吉木田浦組	荷馬車	木浦府榮町	一日	
小車		吉木田浦組	手荷車		三圓	
其他		長門組			一日	

第三、荷役設備利用狀況

一、利用一般

イ、港内積卸貨物一箇年總噸數表

同上月割噸數 (昭和四年中)

主要品名	月												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
米	一八四八一	一三〇五二	二二九五二	二六〇八二	三二,五九九	七四,八	二〇,八	九,五	六	七	一〇,七〇二	一八,一五〇	輸出
線	四二二	二四二	三三九	二,八五九	八,九六	八,五七	二〇,八	三,六	七,七	七,六	三,九	二,三,八	同
棉實	一三三	六	一五	一七	九	二〇	四二	三六	七	七	三〇	一,八	同
海藻	三	六	一	一	六	一	二	二	一	四	一	一	同
棉實	七四	九二	三三	一,四四七	一,六八	一,四三	八,四	二,八〇	一,五	四	一	一	同
碗豆													同
乾蝦													同
棉子													同
海苔													同
寒天													同

主要品名	月												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
牛魚及鹹魚	二	一	三	二	一	一	一	一	六	一	一	一	同
鮮魚													同
其他諸品	八,二八八	四,九六	八,四〇四	一三,二七七	九,三六六	四,五九九	六,八五	一,三五〇	二,三九四	七,七	二,三四四	二,四	同
輸移出小計	三,七七三	二,六〇四	三,四五一	四,三七九	三,四,六五〇	一四,七八三	七,三五六	二,九八四	三,四三七	一八,五二	一三,九四	三,一〇〇	同
肥料	七,五	二,五九九	四,八八九	三,六〇四	一,六六〇	二,二二三	二,八三九	一,九三	二,三	二,六	二,七	五	輸移入
綿織物	二〇	三	八	一〇四	八	三	六	一六	一	一	一	一	同
燈油	二,四二	三	二	六	二,五	一,四	一,〇	二	七	一	一	一	同
鐵及鋼	一,四	一〇	一〇	三〇	二,九	二,〇	三,三	四,五	一,三	一,八〇	一,三	二,九	同
綿織糸	五	三	四	八	二	四	三	四	一	二	四	二	同
外國米	二,七	三	一,一	七	九	三	一,四	九	一	五	三	四	同
石炭	三,三五〇	一〇	四,一〇〇	一七,八	二,八	三,五	三,九	二,〇	三,八	五,一	二,三	一,九	同
砂糖	五	四	五	七	六	七	一〇	一〇	七	二	三	三	同
小麥粉	一,五	一	六	二	七	二	三	三	二	一	一	一	同
絹織物	一〇	七	六	七	九	八	七	七	二	四	一	一	同
臺灣米	一,六	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	同
木材	一,六	五	四	六	五	七	九	七	二	三	一	一	同

貨物噸數	主要品名	備考
四八九、六八五	米、繅綿、棉實油、海藻、棉實粕、肥料、綿布、 綿糸、燈油、外米、石炭、ゴム靴、小麥粉、臺灣 米、揮發油	主トシテ榮町 物揚場
計		

五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物（昭和四年中）

噸數	主要品名	備考
四八四、一〇七	米、繅綿、棉實油、海藻、棉實粕、肥料、 綿布、綿糸、燈油、外米、石炭、ゴム靴、 小麥粉、臺灣米、揮發油	
五、五七八	原 鹽	支那ジャンクニ依 ル

六、主トシテハンド、トラック其他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物（昭和四年中）

噸數	主要品名	備考
四八九、六八五	米、繅綿、棉實油、海藻、棉實粕、肥料、綿布、綿糸、燈 油、外米、石炭、ゴム靴、小麥粉、臺灣米、揮發油	其他ノ陸上運搬用具

七、上屋、倉庫、保税工場、貯水場、野積場其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物（昭和四年中）

貨物噸數	輸移出貨物噸數	主要品名	輸移入貨物噸數	主要品名	備考
上屋 一三、四六	一、二六	海 藻、牛 皮	一八、一五	小麥粉、セメント、燐 寸、洋釘、其他雜貨	官設保税倉庫
倉庫 二二			二三	外米、清酒、砂糖	日本石油木浦販賣所 私設保税工場
保税工場 八六			八六	原油及重油	他所揚特許ヲ以テ私 用貯木場ニ入貨セル モノ
貯木場 四、七七			四、七七	木 材	他所揚特許ヲ以テ私 用貯木場ニ入貨セル モノ
野積場					
貯炭場 三、九三			三、九三	石炭、コークス	他所揚特許ヲ以テ私 用貯炭場ニ入貨セル モノ
油槽					保税工場へ掲記セリ
冷蔵庫					
危險物置場 八、六一					
其他 二五、七五	三〇、四三	米、繅綿、棉實油、 棉實粕、豌豆	二六、五三	燈油及機械油、 肥料、原鹽、石粉	他所積又ハ揚特許ヲ 以テ積卸セル物

八、船車間直接積卸貨物（昭和四年中）

噸數	主要品名	備	考
三一、三一〇	米、石炭、肥料、セメント、其他雜貨	他地方商人又ハ需要者ノ直接取引ニ依ル積卸セル噸數トス	

噸數	主要品名	備	考
四八九、六八五	米、纒綿、棉實油、海藻、棉實粕、肥料、綿布、綿糸、燈油、外米 石炭、ゴム靴、小麥粉、臺灣米、揮發油	主トシテ下請業者ニ依ル	

第四、荷役労働者（種類別人員調）

種類	人員		備	考
	常備	臨時		
沖仲仕（船内入夫） 荷揚仲仕（濱仲仕） 陸仲仕	一二〇人 一二〇人 八〇人	荷役繁忙ノ時ハ 三〇〇人	船内入夫賃金 一噸ニ付 同濱仲仕賃金 同 陸仲仕 一日ニ付	金二十錢 金十九錢 金自壹圓圓

第五、荷役關係業者

一、船内荷役請負業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
吉田 音松 二木 正吉 島澤 光治 丸辰回漕店木浦出張所 國際通運株式會社木浦支店	木浦府 榮町 同 榮町 同 壽町 同 本町 同 榮町	吉田 浦田組 木浦 浦田組 長門 浦田組 辰馬 浦田組	澤山汽船 島谷汽船 大阪商船 （大） （尼崎汽船） （辰馬汽船） （朝鮮郵船） （移入（吉田組） （移出（直營））

二、貨物船積業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
吉田 音松 二木 正吉 島澤 光治 丸辰回漕店木浦出張所 國際通運株式會社木浦支店	木浦府 榮町 同 榮町 同 壽町 同 本町 同 榮町	吉田 浦田組 木浦 浦田組 長門 浦田組 辰馬 浦田組	

三、貨物陸揚荷捌業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
吉田 音松	木浦府 榮町	吉田 浦田組	

六、普通倉庫業者

福家武兒	高岡春吉	松田正治	松浦正治	郭鎮彦	合資會社巴商會	海運送株式會社	南一運輸株式會社	金忠植	安渡治之吉	中城トヲオ	朝鮮汽船株式會社木浦支店	二木松次郎	辰馬海運株式會社木浦出張所	日鮮海運株式會社木浦出張所	谷村近之助
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
壽町	壽町	錦町	壽町	港町	壽町	港町	榮町	壽町	港町	榮町	壽町	榮町	本町	祝町	榮町
		海上運送組						金陵回漕部	安渡回漕店	中城回漕店		二木回漕店	丸辰回漕店	谷村回漕店	

五、回漕業者

福田有造	國際通運株式會社木浦支店	木浦府榮町	木浦府海岸通	福田回漕部	備	考
吉田音松	二木正吉	木浦府榮町	同	吉田音松	備	考
島澤光治	丸辰回漕店木浦出張所	同	同	長門浦組	備	考
國際通運株式會社木浦支店	同	同	同	辰馬組	備	考
人名又ハ會社名	營業所	備	備	考		
人名又ハ會社名	營業所	備	備	考		
人名又ハ會社名	營業所	備	備	考		

人名又ハ會社名	營業所	備	考
木浦倉庫金融株式會社	木浦府 幸町		
朝鮮銀行 木浦支店	同 壽町		
朝鮮殖産銀行 木浦支店	同 幸町		
湖南銀行 木浦支店	同 常盤町		
三共倉庫運輸株式會社	同 曙町		

特種倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
全羅南道農會農業倉庫	木浦府 港町		

七、保税倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
朝鮮總督府	木浦府 港町		
同	同 松島町		
同	同 榮町		
國際運送株式會社 木浦支店	同 榮町	私設	

八、保税工場業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
日本石油株式會社 木浦販賣所	木浦府 榮町		

九、海事檢定業者 ナシ

一〇、艀船業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
吉田 音松	木浦府 榮町	九隻	
二木 正吉	同 榮町	一三隻	
島澤 光治	同 壽町	一〇隻	
同	同 榮町	一四隻	
國際通運株式會社 木浦支店	同 榮町		

一一、檢才業者 ナシ

一二、曳船業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
國際通運株式會社 木浦支店	木浦府 榮町	一回曳船料 金壹圓	同一隻 三五噸
二木 正吉	同 榮町		



人名又ハ會社名	營業所	備考
吉田音松	木浦府榮町	同
島澤光治	壽町	一 隻 三 噸 四

一三、貨物受渡立會業者 ナシ
一四、陸上運送業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
國際通運陸上運送部 主任 入江辰三	木浦府 湖南町	
横田愛造	湖南町	横田運送部
吉田音松	榮町	吉田組運送部
朝鮮運送株式會社木浦出張所 都築唯	湖南町	
近藤義一	常盤町	近藤運送店
二木正吉	榮町	木浦組運送部
島澤光治	壽町	長門組運送部
李斗永	幸町	廣信運送店
雋芳	幸町	普興運送店
李在	幸町	永興運送店
金泰一	幸町	中央運輸組

朴正杓運送部

群山港ニハ測候所ノ設備ナキタメ單ニ群山府廳ニ於テ簡易觀測ヲナスニスギザルヲ以テ之ガ詳細ヲ知り難キモ其大要左ノ如シ

冬期ハ支那大陸ニ起ル高氣壓ニ伴フ季節風ノ影響ヲ受ケ主トシテ北東ヨリ北西ノ風多ク、七、八、九月ハ海洋季節風旺盛トナルニ從ツテ南西乃至東南風多シ暴風ノ風位モ略之ト同様ノ狀態ヲ呈ス

イ、風位回数(最近十個年間)

風位	年次									
	九大年正	十大年正	十一大年正	十二大年正	十三大年正	十四大年正	十五大年正	二昭年和	三昭年和	四昭年和
北	一一	五	三	二	一	一	一	一	一	二
北東	一四	三	三	二	二	二	一	二	三	二
東	一一	九	一〇	五	九	一一	七	六	〇	三
南東	三〇	一	二	七	七	六	〇	四	〇	一
南	三五	二	二	五	五	三	五	四	四	五
南西	一〇	四	一	一	一	一	一	三	五	三
西	三九	二	三	三	四	四	四	一	一	四
北西	三六	二	三	四	四	四	五	三	三	三

ロ、最多風位ト其平均風速(最近十個年間)

風位風速	年次									
	九大年正	十大年正	十一大年正	十二大年正	十三大年正	十四大年正	十五大年正	二昭年和	三昭年和	四昭年和
最多風位	東	東	東	南東	東	東	南東	南東	西北	北東
其平均風速	風雨計ナキタメ不明									

ハ、最大風速ト其風位

風雨計ナキタメ不明

ニ、強風以上ノ回数

群山港ニ於ケル風勢ハ微弱シテ十米以上ノ暴風ヲ見タルコト少ク最近十個年間ニ於テ僅ニ二十數回ヲ算スルニスギズ

ホ、氣溫及氣壓

年平均氣溫一二、二度(攝氏)ニシテ一年ヲ通ジテ一月ニ最モ低ク平均氷點下一・七度ヲ示シ最低極數ノ記録ハ大正四年一月十三日ニ於ケル氷點下一九・一度ナルモ例年一四、五度内外ナルヲ以テ河水氷結シテ航行ニ障害ヲ來スガ如キコトナシ、時トシテ上流ヨリ流下シ來ル氷片ノ結合シテ尺餘ニ達スルコトアルモ軟弱ニシテ氣溫ノ緩和ト共ニ幾何モナク融解スルヲ常トス尙最近十三箇年間ニ於ケル氣溫ヲ示セバ左ノ如シ

月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
平均氣溫	(-) 一・七	〇・三	四・三	一〇・九	一六・二	二二・〇	二五・一	二六・三	二二・〇	一四・五	七・九	一・〇
最低平均氣溫	(-) 五・五	(-) 三・五	(-) 〇・一	五・八	一一・二	一六・二	二二・六	二三・三	一六・三	九・〇	三・五	(-) 三・〇
最低極氣溫	(-) 一九・二	(-) 三・九	(-) 三・一	(-) 二・八	二・二	七・〇	一五・〇	二二・五	五・〇	(-) 七・五	(-) 七・五	(-) 一七・六
												一九・一

へ、天氣日數(最近一個年間)

天氣	月次											
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
晴	二三・九	二二・五	二二・六	二二・二	二三・三	九・七	八・九	二二・八	二二・三	一四・六	二二・五	一〇・四
曇	九・〇	一〇・八	一〇・七	一〇・八	一〇・六	九・八	八・五	八・〇	八・二	九・九	九・一	一一・九
雪	八・八	五・二	二・一	〇・一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二・五	一〇・五
雨	八・三	五・九	五・四	八・〇	七・一	一〇・六	一三・六	二二・二	一〇・五	六・三	九・六	八・七
雷電	〇	〇	〇・二	〇	〇・六	〇・六	〇・八	一・三	〇・三	〇	〇・二	〇・一
烟霧	〇・二	〇・九	一・二	一・三	一・八	〇・五	〇	〇・三	〇・四	〇・九	〇・八	〇・四

降水量八年平均一、〇八五、五耗ニシテ降雨日數ハ一個年平均一〇八日ヲ算ス、錦江上流地方ハ雨量多ク豪雨ノ都度夥シキ土砂ヲ流下シ延テ河口門州ノ増大ヲ來シ本港ヨリ海ニ到ル間ノ航路ハ絶エス多少ノ變化ヲ來スヲ免レズ

降雪ハ十一月ニ始マリ翌年三月ニ終ルヲ常トシ降雪日數ハ平均二十九日ヲ算スルモ其量少ク從ツテ降雪ニヨル荷役不能等ノ如キ場合ヲ見ズ

ト、荷役不可能日數
 沖荷役不可能日數 (一年間) 三十日内外
 港内一切荷役不可能日數(同) 十日内外

第二、設備

一、沖懸荷役場所及繫船設備

イ、場所

群山市街地ノ前面ニ於テ江岸ニ略平行セル二萬四千坪(延長三百間幅員八十間)ノ錨地ニハ三千噸級ノ汽船三隻ヲ又第九號柱燈浮標ノ上流東方約七萬五千坪ノ錨地ニハ四千五百噸級ノ汽船二隻ヲ各同時ニ繫船セシムルコトヲ得、尙港界内ノ水深ハ江岸ヨリ約三十五間ニシテ朔望平均干潮面下、八尺、五十間ニシテ同拾八尺、八十間ニシテ同二十四尺、上流民野岩周圍ハ渦流ノタメ四十尺以上八十尺ノ水深ヲ有ス、之レヲ面積別ニ示セバ左ノ如シ

水	深	面積	積	水	深	面積	積
六尺	未滿	一七九、〇〇〇坪	十二尺以上十八尺未滿	三二五、〇〇〇坪			
六尺以上十二尺未滿		二九八、〇〇〇坪	十八尺以上二十四尺未滿	二〇八、〇〇〇坪			

水	深	面	積	水	深	面	積
二十四尺以上三十尺未滿			六二、〇〇〇坪	三十六尺以上四十尺未滿			四、五〇〇坪
三十尺以上三十六尺未滿			一三、五〇〇坪	四十尺以上			二〇、〇〇〇坪

八四

- 口、繫船浮標
- 四十五噸級用 一 群山警察署專用
 - 三十噸級用 一 群山土木出張所專用
 - 十五噸級用 一 群山税關支署專用
 - 十噸級用 四 各海運代理業者專用
- ハ、航路標識

種	類	位	置	經	營	者	種	類	位	置	經	營	者
桂燈	立標	群山港内制水堤先端		總督府遞信局		第五號柱燈浮標	群山港莫餐島北方		總督府遞信局				
第九號桂燈浮標		群山港口前望山南方		同		第三號柱燈浮標	第五號柱燈浮標西		同				
前望山柱燈浮標		群山港口		同		第二號柱燈浮標	同		同				
第七號柱燈浮標		群山港口前望山南方		同		第一號柱燈立標	群山港莫餐島西方		同				
丙號柱燈浮標		群山港口入耳島ノ北		同		第一號柱燈浮標	群山港飛鷹島西方		同				
第四號柱燈浮標		群山港長山島北方干		同		上	同		同				

二、港内航路

種	別	幅員	水深	延長	備	考
内港航路		一六五間	三、一	一、五九五間	群山側三分ノ一地點ヨリ第九號柱燈浮標ニ向フ	
外港航路		二七五間	四、八	九二七間	第三號柱燈立標ヨリ第二號柱燈浮標及第一號柱燈立標ヲ經テ第一號柱燈浮標ニ至ル	
外港航路(舊)		一四三間	三、七	二、六四〇間	錦江第九號柱燈浮標忠清南道側ニ沿ヒ第四號柱燈立標外側ヲ經テ第三號柱燈立標ニ至ル	
外港航路(新)		一五四間	二、三	二、三一〇間	第九號柱燈浮標ヨリ錦江中流ヲ第三號柱燈立標ニ至ル	

ホ、水先案内

水	先	區	航	路	汽	船	帆	船	案	内	料	人員
忠清南道冬柏亭串ヨリ群山第一號柱燈浮標飛鷹島及無衣人島ヲ經テ全羅北道嶼串ニ引キタル線ヲ以テ境界トス			水先區域境界線ヨリ水先區域境界線マデ		四〇圓	汽船ノ案内料ニ百分ノ八ヲ加ヘタル額						四

備考 右料金ハ總噸數千噸以下ニシテ吃水十尺以内ノ船舶ニ對スルモノニシテ總噸數五百噸若クハ五百噸未滿又ハ吃水一呎若クハ一呎未滿ヲ増ス毎ニ其ノ百分ノ六チ加フ

二、接岸荷役設備

八五

種類	經營者	名	稱	位	置	延	長	干潮面 水深	構	造	備	考
棧橋	群山稅關支署	稅關第一棧橋	群山府本町地先	三三間〇	八尺	木	造	使用料ハ附				
同	同	稅關第二棧橋	同	三五間〇	八尺	同		及船渠使用				
同	同	稅關第三棧橋	同	三〇間七五	八尺	同		規則參照				
同	群山府	渡船棧橋	群山府西濱町	四九間五	八尺	同						
同	全北水産 株式會社	漁船棧橋	同	二〇間六	八尺	同						
同	朝鮮冷蔵庫	同	群山府外新豊里	三〇間〇	八尺	同						
浮棧橋	群山稅關支署	稅關棧橋	群山府本町地先 稅關構内	二六間三	一〇尺	上部木造下部 鐵筋コンクリ					工事中	
同	同	同	同	四四間八	二三尺	鐵筋コンクリ					同	
同	同	同	同	一四間〇	二三尺	同					同	

但シ現在ニ於テハ本船ハ接岸荷役ヲナスコト能ハザレドモ目下工事中ノ浮棧橋竣工後ハ三千噸級三隻ヲ繫留セシムルコトヲ得

三、解溜

解船及帆船ハ棧橋附近ノ岸壁ニ隨時繫船スルモノニシテ解溜トシテノ特種設備ナシ

四、物置場

經營者	名稱	位	置	延	長	干潮面 水深	使用料	機械設備	取扱主要品	備	考
群山稅關支署	物置場	稅關構内	二二間五	一					米穀及雜貨		工事中
同	同	同	二六間五	二五尺							工事中
同	同	同	八五間一	二五尺							工事中

五、運河及河川 ナシ

六、臨港地域内ニ於ケル鐵道軌道道路及橋梁

イ、鐵道及軌道

經營者	名稱	延	長	軌	幅	貨車電車ニ 對スル設備	臨港驛ノ位 置及其設備	操車場ノ位 置及種類	備	考
總督府鐵道局	江岸引込線	一哩一〇鎖	四呎八吋				稅關構内ニア リテ荷捌所ヲ 設置ス			
同	同	一哩四四鎖	四呎八吋							工事中

ロ、道路 市街ヨリ稅關構内ニ通スル道路アリト雖モ特ニ臨港地域ノミノ道路ト稱スベキモノナシ

ハ、橋梁 ナシ

七、貨物置場及藏置設備

イ、上屋

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	階數	構造	機械設備	使用料	備考
群山稅關支署	上屋	貨物上屋	稅關構內	二	五八八	一	木	造	ナシ		備考
同	同	同	同	一	二七五	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	七八三	同	同	同	同		同
同	同	同	同	二	一、五六六	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	七八三	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	二七五	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	七八三	同	同	同	同		同
同	同	同	同	二	一、五六六	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	七八三	同	同	同	同		同
同	同	同	同	一	二七五	同	同	同	同		同
同	同	同	同	二	一、五六六	同	同	同	同		同

口、倉庫

所有者	名稱	位置	棟數	坪數	層數	階數	構造	機械設備	備考
群山稅關支署	貨物倉庫	稅關構內	三	七二八	一	木	造	ナシ	
鐵道局	同	同	二	五二五	同	同	同	同	
群山信託會社	私設保稅倉庫	本町通	三	七〇六	同	同	同	同	
群山通商會社	米穀及繩吹倉庫	同	七	五八三	同	同	同	同	
安部商店	米穀及木材倉庫	同	五	二〇六	同	同	同	同	
家房吉	米穀倉庫	同	九	四〇〇	同	同	同	同	
大澤藤十郎	同	同	二	一一〇	同	同	同	同	
森菊五郎	同	同	七	四二一	同	同	同	同	
十八銀行	同	同	二	一五六	同	同	同	同	

朝鮮銀行	同	同	三	一三九	同	同	同	同	
侯爵 細川家	同	同	三	二一五	同	同	同	同	
韓一銀行	同	同	一	四八	同	同	同	同	
同 順泰	同	同	四	二一八	同	同	同	同	
群山信託會社	同	同	四	二〇〇	同	同	同	同	

米穀倉庫使用料 玄白米(四斗入)一呎ニ付 一箇月 三錢五厘
 私設保稅倉庫使用料 穀類一石ニ付 一ヶ月 七錢
 保稅倉庫使用料 貨物十才ニ付 使用料 借庫料
 本船入港ノ日ヨリ六日間 無料 無料
 七日間ヨリ三日間 一錢 無料
 十一日目ヨリ 二錢 三錢

- ハ、保稅工場 ナシ
- ニ、貯木場 ナシ
- ホ、特種貨物ニ對スル藏置設備 ナシ
- 八、起重機其他荷役裝置

現在之等ノ裝置ヲ有セザレドモ築港修築工事ニ伴ヒ固定起重機(揚力三十噸手動ニヨルモノ)一基ノ設備ヲナスコトトナリ目下工事中

九、ハンド・トラック其他陸上運搬用具 ナシ

第三、荷役設備利用状況

一、利用一般

イ、港内積卸一ヶ年總噸數(昭和四年中) 四十八萬九千七百七十二噸

ロ、同上月別噸數

月別	輸移出噸數	輸移入噸數	其他ノ噸數	合計
一月	二九、二〇八	七、八五八	二、五二八	三九、五八四
二月	二五、六〇五	九、九三七	〇	三五、五四二
三月	二六、九一三	二八、〇八六	二	五五、〇〇一
四月	二二、二〇三	二八、四四六	一、四六三	五二、一三二
五月	二二、二八七	二二、二三七	一	四五、五二五
六月	一三、二八八	一六、六二六	三	三九、九一七
七月	六、七九〇	一四、四五二	一	二一、二四三
八月	一〇、〇五二	七、六〇七	一	一七、六六〇
九月	四、三八〇	九、五七〇	一	一三、九五一
十月	三二、八〇二	一〇、四〇一	〇	四三、二〇三
合計	三二一、四九四	一七一、六六六	四、〇二二	四八九、一七二

月	沖懸荷役セル船舶總數	隻	噸數(總噸數)	旅客數	備考
十一月	六三、二二〇	九〇一	六八七、〇五〇	不	七、六九四
十二月	四五、七四六	ナシ	ナ	不	五三、七二〇
合計	三二一、四九四	不明	六八七、〇五〇	不明	四八九、一七二

二、沖懸荷役

イ、沖懸荷役セル船舶

沖懸荷役セル船舶	隻	噸數	噸數(總噸數)	旅客數	備考
沖懸荷役セル船舶總數	九〇一	六八七、〇五〇	六八七、〇五〇	不	七、六九四
内 繫泊ニテ荷役セル船舶	ナシ	ナ	ナ	不	五三、七二〇
内 錨泊ニテ荷役セル船舶	九〇一	六八七、〇五〇	六八七、〇五〇	不	四八九、一七二
内 譯 旅客ヲ乗降セル船舶	不明	不明	不明	不明	

ロ、沖懸荷役セル貨物

沖懸荷役セル貨物	噸數	主要品名	備考
沖懸荷役セル貨物總噸量	四八九、一七二	玄米及雜貨	
旅客ヲ乗降セシメタル船舶荷役噸量	不明		

三、接岸荷役

本船荷役ハ總テ沖懸荷役ニシテ棧橋ハ單ニ舢船ニ貨物ヲ積込ミ又ハ陸揚ヲナス場合ニ使用スルニスギザルヲ以テ現在ニ於テハ當該事項ヲ欠除スト雖モ目下施工中ノ棧橋竣工後ニ於テハ直接棧橋ニ本船ヲ繫留シ得ルヲ以テ本船ノ接岸荷役ヲナスコトヲ得

四、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物

荷役ノ種類ニヨル積卸貨物	噸數	主要品名	備考
主トシテ本船備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	四八五、一六〇	玄米及雜貨	
主トシテ起重機其他港灣備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	四、〇一二	同	現在上記荷役装置ナキタメ該當事項ナシ

五、モトシテ「ハンドトラック」其他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物 ナシ

第四、荷役労働者

常備人夫五百人臨時人夫五百人合計一千人ナリ(詳細ハ群山港荷役労働調査ノ項参照ノコト)

第五、荷役關係者

一、回漕業者 (Forwarding Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備考
大阪商船代理店 大澤藤十郎	群山府 本町通	

群山海運株式會社	同	全州通	朝鮮郵船、近海郵船、澤山兄弟商會、鳴谷汽船代理店
協同海運株式會社出張所	同	本町通	山下汽船、川崎汽船、中村組代理店
尼崎汽船部出張店	同	濱町	岡崎汽船代理店
丸辰海運株式會社	同	本町通	辰馬汽船代理店
盛航社	同	本町通	沿岸船扱店
大洋組	同	同	同
大正組	同	同	同

前記回漕業者ハ其專屬組ヲシテ船内荷役貨物積卸貨物陸揚荷捌等ノ實際業務ヲ擔當セシム依ツテ左ニ之ヲ表記スベシ

人名又ハ會社名	營業所	備考
商船組 滋谷金次郎	群山府 本町通	大阪商船代理店專屬組
海運組 中村丹造	同	群山海運株式會社專屬組
日勢組 森廣梅吉	同	尼崎汽船部專屬組
協同組 塚崎作郎	同	協同海運株式會社專屬組
共榮組 吉野喜造	同	丸辰海運株式會社專屬組
	全州通	
	本町通	

二、普通倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
群山信託株式會社	群山府 本町通		
朝鮮商業銀行群山支店	同 全州通		
朝鮮殖産銀行群山支店	同		
十八銀行 群山支店	同 本町通		
韓一銀行 群山支店	同		

三、保稅倉庫業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
群山信託株式會社	群山府 本町通		

四、保稅工場業者 ナシ

五、海事檢定業者 (Surveyor)

人名又ハ會社名	營業所	備	考
瀬戸山傳藏	群山府 新興洞		

六、解船業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
大澤 回漕部	群山府 本町通		
群山海運株式會社	同 全州通		
尼崎汽船部 出張店	同 本町通		
協同海運株式會社出張所	同		
丸辰海運株式會社	同 濱町		

七、曳船業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
大澤 回漕部	群山府 本町通		
群山海運株式會社	同 全州通		

八、貨物受渡立會業者 (Tally man)

九、陸上運送業者

人名又ハ會社名	營業所	備	考
朝鮮運送株式會社群山支店	群山府 榮町		
國際通運株式會社群山出張所	同		
鮮南運輸組 松浦保介	同		

10. 税關貨物取扱業者 (Custom Broker)

人名又ハ會社名	營業所	備考
飯塚通關部 飯塚忠三郎	群山府 本町通	
日勢組通關部 森廣 梅吉	同	
朝鮮運送株式會社 群山支店通關部	同	
國際通運株式會社 群山出張所通關部	同	

群山港荷役勞働調査

第一、荷役勞働者及同供給業者

一、種類

一、作業ノ種類

群山港ニ於テハ直接荷役ニ従事スル勞働者ヲ大別シテ船内人夫濱人夫ノ二種トス

イ、船内人夫 港内碇泊本船ニ於ケル貨物積卸ノ荷役作業ニ従事スルモノニシテ、ソノ作業ニ依リウインチマン、デツキマン、平人夫等ニ細別ス

ロ、濱人夫 貨物陸揚又ハ舢舨積等ニ従事スルモノニシテ其運搬用具ニヨツテ人夫ソノモノヲ車軍又擔軍ト俗稱ス

(附)舢舨頭ハ前二者ト稍其ノ勞働ヲ異ニスト雖モ廣義ノ港内勞働者タルヲ以テ一括シテ茲ニ附記スベシ

舢舨頭ハ本船ト棧橋間ニ於テ運航スル舢舨ト乘船シ、其運航業務ニ従事スルモノトス

數 百五人

賃銀(甲)月給制度ヲ普通トシ最高七十圓最低四十五圓普通六十圓ニシテ他ニ年二回賞與トシテ月給二ヶ月分

ヲ給與ス

(乙)能率ニヨル場合平均月額六十圓内外ナリ、コノ給與方法ニヨル場合ニ於テハ舢舨收入ヨリ營業費其

他ヲ控除シ且普通一割内外ノ積立ヲナシタル殘額ヲ經營者ト船頭トノ兩者ニ折半シ給與セラレルヲ

二、作業ノ場所

イ、船内人夫ノ作業場所 群山港内ニ碇泊スル船舶

ロ、濱人夫ノ作業場所 群山港江岸一帯

三、貨物ノ種類

玄米、白米、肥料、石炭、綿糸布其他雜貨

二、數

一、常備労働者

イ、總數 五百人

ロ、種類別數労働者全部鮮人男子ニシテ總テ本船内ニ於ケル作業ニ従事ス

ハ、労働者供給業者別所屬労働者數

共同労働組合 百五十人

新興労働組合 百五十人

共信労働組合 百人

新労働組合 百人

ニ、荷役請負業者別直屬労働者數 荷役請負業者ハ各回漕業者ニ專屬シ、且自己ニ隸屬セル労働者供給業者タル勞

働組合ヨリ人夫ノ供給ヲ受ケテ一般荷役ヲ遂行スルモノニシテ此三者ノ關係ハ頗ル密接ナルトトモニイササカモ他ノ業者ノ繩張ヲ侵害スルガ如キコト絶無ナルヲ以テ左ニソノ配屬關係ヲ表示スベシ(労働者數ハ前項参照)

回漕業者	荷役請負業者	労働供給業者	備考
大阪商船代理店 大澤回漕部	商船組	共同労働組合	大阪商船專屬
群山海運株式會社	海運組	共信労働組合	朝鮮郵船、近海郵船專屬
協同海運株式會社	協同組	新興労働組合	澤山、島谷汽船專屬
尼崎汽船部出張店	日勢組	新興労働組合	山下、川崎、中村組汽船專屬
丸辰海運株式會社	共榮組	新労働組合	尼崎、岡崎汽船專屬
		丸辰労働組	辰馬汽船專屬

ホ、世帯ヲ有スル者ノ數及獨身者數

世帯ヲ有スルモノ 約三百五十人

獨身ノモノ 約百五十人

二、臨時労働者

イ、其地方的名稱 俗ニ擔軍チケン又ハ車軍クルマケント稱シ日常江岸地帯ヲ徘徊シ人夫供給業者ノ徵募ニ應ジテ隨時運搬其他ノ業務ニ使役セラル

ロ、季節別概數 毎年農繁期ニ農業労働者トシテ附近ノ農村ニ出稼スル場合ヲ除キ四季ヲ通ジテ其概數五百人程度

ナリ

三、鑑札ヲ有スル者ノ數 鑑札制度ナシ

三、就業狀況及繁閑季節

一、労働者一人ニ付月別平均就業日數 二十日

二、繁忙季節ニ於ケル一日平均就業労働者數 一千人

三、閑散季節ニ於ケル一日平均就業労働者數 八百人

四、繁忙季節ト其平均日數 出穀期デアル毎年十一月、十二月、一月、二月、三月、四月ノ六ヶ月ヲ繁忙季節トス其日數 百八十一日

五、閑散季節ト其平均日數 毎年五月、六月、七月、八月、九月、十月ノ六ヶ月ヲ閑散季節トス其日數 百八十四日

四、年齢及移動狀況

一、年齢 最高六十二才、最低十七才、平均年齢三十五才

二、常備労働者平均勤続年數 最長二十年、最短一年、平均二年

三、前項ノ平均年數以上勤続労働者數 百五十人

五、賃銀

一、率

イ、日給ノ場合

制度ナシ

ロ、時間給ノ場合

同 前

ハ、能率ニ依リ支給ノ場合 品別玄米及雜貨一個ニ付一錢二厘五毛(噸當リ賃率十八錢七厘五毛)

二、支拂方法 毎日拂

三、臨時労働者ノ賃銀率 玄米(四斗入)一呎ニ付一錢

支拂方法毎日拂

六、作業制度

一、口ニ依ルモノ

イ、種類 本船内

ロ、一口ノ人員 二十三人ニシテソノ配員數ハ上甲板二人船艙内十人舢舨十一人ナリ

七、能率

一、機械装置ヲ使用スル場合 (船積)一時間ニ付三十噸

一、主トシテ人力ニヨル場合 (舢舨積又ハ陸揚)一時間ニ付玄米(四斗入)十五呎内外(一人役)

八、雇傭方法

常傭人夫ト雖モ傭入ニツイテハ何等規定スルトコロナク通常身體強健ト認ムルモノハ組合長小頭等ノ意見ニヨリテ採用セラル又臨時人夫ハ荷役ノ際波止場附近ニ蝟集スル一定ノ傭主ナキ人夫中ヨリ隨時傭入レノ上使役スルモノナリ要スルニ雇傭方法トシテノ規定ヲ制定セシ例未ダ嘗テナシ

九、労働者供給業者

1011

名 稱 共同労働組合 新興労働組合 共信労働組合 新労働組合
 種類別 船内人夫百五十人 同上 百五十人 同上 百人 同上 百人
 人数 臨時人夫ハ各組合共通ニ之ヲ使役ス其數約五百名ナリ
 給與方法 出來高拂 同 上 同 上
 最近一ケ年 取扱高 二十萬噸 九 萬 噸 五 萬 噸
 最近一ケ年ノ取扱品目ハ各組合トモ主トシテ玄米及雜貨ナリ
 荷役労働ニ對スル供給業者ノ地位
 荷役業者ト供給業者トノ關係ハ後者カ前者ニ直屬シテ單ニ人夫ヲ供給スルニスギズ
 荷役作業ニツイテ供給業者ハ荷役請負業者ノ命令ニヨリ人夫ヲ指揮監督ス
 資力 各組合トモニ資力ナシ

一〇、荷役労働者ノ居住

- 一、荷役場所又ハ荷役ノタメノ乗船地ニ對スル労働者居住地區ノ位置及距離 群山府ノ外廓ニシテ十町内外ナリ
- 二、前項ノ場所又ハ地點ト居住地區トノ間ノ交通機關ナシ
- 三、居住ニ對スル施設ナシ
- 一一、保險傷害休養衛生其他ニ關スル施設又ハ給與 ナシ

一二、教育程度

人夫ハ殆ド全部無教育者ニシテ目ニ一丁字ナシト雖モ氣質ハ比較的純朴ニシテヨク指揮者ノ命ニ服ス

一三、労働爭議

陸上労働者ノ労働爭議ガ最近頻發セルニモカカワラズ港内労働者ハ末ダ嘗テ労働爭議ヲ惹起セシコトナシ要スルニ
 港内労働者ガ純朴ナルト共ニ労働條件ガ陸上労働者ニ比シ良好ナル結果ナルベシ

一四、労働組合

常備人夫ハ全部労働組合ニ加入ス労働組合ノ主ナルモノ左ノ如シ

組 合 名	人 員	組 織	財 政	備 考
共同労働組合	一五〇	小組長 十一人	常備人夫及ビ臨時人夫ノ稼高ノ内ソノ一部分ヲ徵收シテ經常費トナス積立金等ナシ	
新興労働組合	一五〇	小組長 九人		
共信労働組合	一〇〇	小組長 七人		
新労働組合	一〇〇	小組長 六人		

第二、荷役請負業者

1011

名稱	資力	人員	雇傭方法	賃	銀	設備	扱噸數	備考
商船組	三萬圓	三一人	組合ノ承	歩合制月額 (平均)	一三〇圓	回漕業者	二十一萬噸	
海運組	一萬圓	一六人	認ラエテ		七〇圓	ノ施設ヲ	七萬噸	
日勢組	一萬圓	一三人	加入セシ		七〇圓	ノ施設ヲ	五萬噸	
協同組	一萬圓	六人	ム		六〇圓	利用ス	二萬噸	
共榮組	一萬圓	六人			六〇圓		一萬五千噸	

第三、主トシテ人力ニ依ル荷役又ハ運搬

一、主ナル貨物ノ品名並ニ荷造

舩船ヨリ貨物ノ陸揚ヲナス場合若クハ陸上ヨリ舩船ニ積込ノ場合ハ主トシテ人力ニヨルモノニシテソノ品種ハ呎入米穀菰包又ハ箱入雜貨等ナリ

二、荷役又ハ運搬ノ方法

主トシテ「チゲ」ヲ以テ運搬ス

三、荷役又ハ運搬ノ用具

主トシテ「チゲ」ヲ用フ

四、一人一時間ノ荷役又ハ運搬能率

玄米(四斗入)十五呎内外ヲ普通トス

五、一口一時間ノ荷役又ハ運搬能率

該當事項ナシ

鎮南浦港荷役調査一般

第一、氣象

一、潮位

干潮位	滿潮位	朔望平均	最大平均	差	備考
○	五・六米		(-)		
五・七七米	○・〇九米	五・八六米			
○・〇九米	○・二六米				
					備考

二、風位及風速

イ、風位回數 (自大正八年
至昭和三年十ヶ年平均)

風位	月	別	備考
北々北	二 三 四	一六	
北々東	五 六 七	一七	
北々東	八 九 一〇	二八	
北々東	一一 一二 一三	一五	
			備考

六米以上	風位		年 卜 日 年	其 ノ 風 位	最 大 風 速	風速其他	最 多 風 位	其 ノ 平 均 風 速	風位風速
	一	二							
四	一	二				一			一
六	二	三				二			二
二	三	四				三			三
七	四	五				四			四
八	五	六				五			五
六	六	七				六			六
三	七	八				七			七
三	八	九				八			八
一	九	一〇				九			九
三	一〇	一一				一〇			一〇
五	一一	一二				一一			一一
六	一二					一二			一二
	備考					備考			備考

二、強風以上ノ回数(昭和二年)

八、最大風速卜其ノ風位(昭和二年)(二十分毎ニ)

口、最多風位卜其ノ平均風速(自大正八年至昭和三年十ヶ年平均)

北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	風位	
北	北	西	西	南	南	南	南	東	東	東	二	
西	西	西	西	西	西	東	東	東	東	東	三	
											}	
八		一五		三		七		二		三八		四
												五
											}	
二		一三		三		二		一五		四八		六
												七
											}	
五		一三		五		〇		〇		二五		八
												九
											}	
七		九		五		一		四		二三		一〇
												一一
											}	
												一二
												一三
											備考	

天 氣	月 別												備 考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
快晴	二六	二〇	二五	二〇	二三	二三	二八	二〇	二三	二五	二五	二三	
晴													
曇	五	九	六	一〇	九	八	三	二	八	六	三	八	
雨		一	三	一	四	三	九	八	六	二	三	三	
雪	四	三										四	
雷電													
霧													

一一一

へ、天氣日數(昭和三年分)

氣 壓	氣 溫 (攝氏)	月 別												備 考
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
	△七・五 △四・二	二・九	二・七	二・七	二・五	二・五	二・九	二・七	二・七	三・〇	四・八	△三・三	示△ハ零下ナ ス	

ホ、氣溫及氣壓(昭和三年平均)

風 位	月 別												備 考
	北 北 西	北 西	西 南	南 南	南 南	東 東	東 東	北 東	北 東	十 米 以 上			
一													
二													
三													
四													
五													
六													
七													
八													
九													
一〇													
一一													
一二													

一一〇

天氣	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
霜	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	十二月末ヨリ三日上旬迄流水
烟霧	七	五	六	一	一	一	一	一	一	七	〇	三	

ト、荷役不可能日數(最近一箇年)

沖懸荷役不可能日數 港内一切荷役不可能日數	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
三	三	三	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	五
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	

第二、設備

一、沖懸荷役場所及ヒ繫船設備

イ、場所

總水面積	湖望平均干潮面下水深區分	備考
船渠内 一一、九六〇坪 一一、二二〇坪	六尺以上十二尺未滿 十八尺以上二十四尺未滿	

船渠外 三一五、〇〇〇坪
二、八三五、〇〇〇坪
二十四尺以上四十尺未滿
四十尺以上

ロ、繫船設備(繫船浮標其他)

種類	經營者	名稱	箇數	使用料	備考
東七十噸級用 西百噸級用 西三百噸級用 東五百噸級用	平安南道 鎮南浦汽船株式會社 遞信局 朝鮮商工株式會社	圓錐形 繫船浮標	一 一 一 一	ナ シ	

二、接岸荷役設備

種類	經營者	名稱	延長	水干潮面深下	構造	使用料	備考
岸壁稅 棧橋稅 同	關關	繫船壁 新棧橋 舊棧橋 稅關橋	一四〇間 三〇間 四六間	(一)一八尺 (二)二三尺	石コンクリート造 木造 石造		

種類	名稱	延長	幅員	舗装	備考
碎石道路	マカダム式	二、八〇〇米	自一〇米至一八米	混泥土ブロック 花崗石同 上	舗装ブロック施工分ハ 岸壁荷揚場附近

ハ、橋梁

種類	名稱	長	サ	構造	備考
鐵道橋	南浦橋梁	一、三三六	七米四三連 三米七六一連	固	固定プレート型
鐵道橋	南浦新橋梁	一、米二七	七米三二連 四米五五七連	同	同
道路橋	開閉式	一、米三六	七米一八	木造	半永久

七、貨物置場及藏置設備

イ、上屋

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	構造	機械設備	使用料	備考
稅關支署	普通	稅關上屋	稅關構内	一〇	二、〇一六	木鉛葺	—	六日マデ	無

ロ、倉庫 (但シ個人専用ノモノナ除ク)

經營者	種類	名稱	位置	棟數	坪數	層數	構造	機械設備	備考
鎮南浦倉庫株式會社	普通	東倉庫	港町	五	九五三	—	煉瓦造	—	穀類
同	同	同	同	一	八六四	—	煉瓦造	—	同
同	同	西倉庫	三和町	九	六五三	—	煉瓦造	—	同
同	同	同	同	四	一三二	—	煉瓦造	—	同
同	同	旭倉庫	旭町	三	一三一	—	煉瓦造	—	同
同	同	同	同	二	七一	—	煉瓦造	—	同
同	同	漢頭里	漢頭里	二	七一	—	煉瓦造	—	穀類
新井新藏	三和町	三和町	三和町	四	三四一	—	煉瓦造	—	穀類
齋藏久太郎	合計	合計	合計	四一	三、五六九	—	木造	—	同

ハ、保稅工場 ナシ
ニ、貯木場 (水陸共) ナシ

ホ、特殊貨物ニ對スル藏置設備

種類	經營者	名稱	位置	坪數	構造	機械設備	保管料	主要出品名	收容能力	備考
野積場	專賣局出張所	鹽倉庫	新港	三三三坪	木片			官鹽	三三三〇〇〇斤	
	同	同	港町	五八坪	同			同	七〇〇〇〇斤	
	西鮮線綿株式會社	倉綿	碑石里	三〇坪	煉瓦			水		休業中
	鎮南浦水組合	水倉庫	漢頭里	一〇三坪	木造					
貯炭場	海軍省	貯炭場	大同江岸	七八〇坪	鐵骨			無煙炭		
危險品置場	油會社	石油倉庫	千兩機	四三坪	煉瓦			石油	二十萬箱	
	同	同	後浦里	一七坪	同			同	一千五十箱	
	ライジングサン石油株式會社	同	漢頭里	四坪	木造			同	五千箱	
	テキサス石油會社	同	同	一四坪	煉瓦			同	二萬五千箱	
	今倉殖産株式會社	火藥倉庫	萬兩機	四坪	煉瓦			火藥類	七六六貫	
	加藤義一	同	龍岡郡	四坪	同			雷管	三三〇〇〇個	
	內務省	同	文艾里	四坪	同			同	七二〇〇貫	
	土木出張所	同	漢頭山	二〇坪五	同			同	六〇〇〇〇個	
									四〇一五疋	

ハ、起重機其ノ他ノ荷役裝置

種類	經營者	位置	能力	動力ノ種類	主ナル取扱貨物	使用	費用	料	備考
可動	稅關	岸壁	一噸半	蒸汽	穀物セメント	一時間		八十錢	
同	同	同	同	同	雜貨	同			
同	同	同	同	同	同	同			
据置	同	新港	五噸	同	同	同		四十錢	

九、ハンド・トラクタ其ノ他陸上運搬用具

種類	所	有者	積載力	使用場所	箇數	備考
貨物自動車	丸五運送店	丸五運送店	一噸半	市内及龍岡郡自福里マデ	二	
牛車	朝日組支店外	朝日組支店外	一噸	近臨港地域内及附近	二二	
馬車	大和組外	大和組外	一噸	同	一八一	
荷車	鎮南浦労働組合	鎮南浦労働組合	半噸	同	四九〇	
貨物自動車	昭和自動車部	昭和自動車部	一噸半	鎮南浦平壤間	一	

一〇、陸上小運送機關（臨港地域ニ出入スルモノ）

種類	數	總積載量	備考
自動車	二台	三噸	
馬車	一七一台	約一七一噸	
小荷車(人力)	四四三台	二二一噸半	
其ノ他(牛車)	二二台	二一噸	

第三、荷役設備利用狀況

一、利用一般

一一、陸上小運送機關ニ對スル設備 ナシ

イ、港内積卸貨物一箇年總噸數 七二二、八五二噸

ロ、同上 月割噸數

主要品名	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
輸移出	一六、三三	二二、七〇	一四、九〇	二二、〇〇	二二、六八	二二、九九	七、〇七	六、九〇	七、〇九	六、五五	一七、五八	三三、七九	
米	三、〇六	—	三、二二	三、一四	一、〇一	二、〇七	七、〇四	三、八九	二、九三	二、二四	二、〇四	一、九七	
石炭	三、〇六	—	三、二二	三、一四	一、〇一	二、〇七	七、〇四	三、八九	二、九三	二、二四	二、〇四	一、九七	
大小豆	三、六四	三、三三	三、〇六	一、五七	二、六六	二、二九	一、七六	六、八	三、七	九、六	四、六	八、一	
其他	二、五五	一、三〇	一、七四	一、四二	九、〇六	九、六七	二、七三	二、五九	二、〇二	二、四九	二、〇二	四、〇六	
林檎、金礦、鐵礦、ハルブ、肥料其他													

輸移出貨物合計	月別												備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	
輸移出貨物合計	三五、七五	二八、三八	三六、五五	四〇、〇〇	三三、〇五	三四、八五	四三、〇九	三七、三八	五七、〇六	四七、五五	六九、七二	一〇二、八七	
輸移入貨物合計	二、三四	二、七四	一、四八	二、八〇	一、五九	二、三五	二、二六	二、〇七	一、五六	一、五六	二、八五	一、七六	
小麥、小麥粉、鹽、石油、機械油、綿糸、布、鐵金物、諸機械、諸藥材其他													

二、沖懸荷役

イ、沖懸荷役セル船舶

沖懸荷役セル船舶總數	隻	數	噸數(總噸數)	旅客數	備考
繫泊ニテ荷役セル船舶	一三八	—	二〇〇、六七八	—	
錨泊ニテ荷役セル船舶	一三八	—	二〇〇、六七八	—	
旅客ヲ乗降セシメタル船舶	八二	—	八九、一七一	一、七九九	

ロ、沖懸荷役セル貨物

沖懸荷役セル貨物總噸量	噸	數	主要品名	備考
旅客ヲ乗降セシメタル船舶ノ荷役噸量	八三、八四二	不明	雜貨	

三、接岸荷役

イ、接岸荷役セル船舶

岸壁	棧橋	浮橋	内、旅客ヲ乗降セシメタル船舶	計	乗降旅客數
八〇〇	八〇〇	八〇〇	二四六	二四六	二、七七七人
三七七、九一八	三七七、九一八	三七七、九一八	五三、九九三	五三、九九三	
計	計	計	計	計	計
隻數	隻數	隻數	隻數	隻數	隻數
噸數(總噸數)	噸數(總噸數)	噸數(總噸數)	噸數(總噸數)	噸數(總噸數)	噸數(總噸數)
備考	備考	備考	備考	備考	備考

ロ、接岸荷役セル貨物

岸壁	棧橋	浮橋	内、旅客ヲ乗降セシメタル船舶ノ荷役噸量	計	直接積卸噸數	貯積卸噸數	合計	主要品名	備考
四〇二、七五六噸	四〇二、七五六噸	四〇二、七五六噸	不明	四〇二、七五六噸	一〇〇、六八九噸	一〇〇、六八九噸	五〇三、四四五噸	推定	
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

四、物揚場ニテ積卸セル貨物

港内物揚場	運河内物揚場	河川内物揚場	計	貨物噸數	主要品名	備考
五〇三、四四五	五〇三、四四五	五〇三、四四五	五〇三、四四五	五〇三、四四五		
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

五、荷役ノ種類ニ依ル積卸貨物

主トシテ本船備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	主トシテ起重機其他港灣備付ノ荷役装置ニテ積卸セル貨物	主トシテ人力ニテ積卸セル貨物	噸數	主要品名	備考
四四四、一四八	二、七二二	二、七二二	四四四、一四八	穀物、小麦粉、セメント、鑛石	
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
噸數	噸數	噸數	噸數	噸數	噸數
備考	備考	備考	備考	備考	備考

六、主トシテ「ハンド・トラック」其ノ他陸上運搬用具ニテ運搬セル貨物

噸數	主要品名	備考
一二七、二八五	穀物雜貨	推定
噸數	噸數	噸數
噸數	噸數	噸數
備考	備考	備考

七、上屋、倉庫、保稅工場、貯木場、野積場、其ノ他貨物置場ニ出入セル貨物

倉庫	上屋	保稅工場	貯木場	野積場	貯炭場	油槽	冷藏庫	危險物置場	其他
二六、三三	〇、三五			三三、七九	三三、七九			九、三	
六、三五			三〇、六三	無煙炭					
穀物、果實、 バルブ、水産物									
五、九六			六、六七					九、三	
一般貨物			機械、金物類					石	
								油	
貨物噸數	輸移出貨噸數	主要品名	輸移入貨物噸數	主要品名	備	考			

八、船車間直接積卸貨物

噸數	主要品名	備	考
七〇、〇〇〇	砂糖		

九、荷主直取貨物並ニ船主又ハ船主下請業者ノ荷役シタル貨物

噸數	主要品名	備	考
九八四、一三七	輸移出入貨物ニ同ジ		

第四、荷役労働者（種類別人員調）

種類	人員		備	考
	常備	臨時		
沖仲仕（船内人夫）	一〇〇人	二〇〇人		
荷揚仲仕（濱仲仕）	一五〇人	三〇〇人		
陸仲仕	三〇〇人	四〇〇人		

第五、荷役關係業者

一、船内荷役請負業者（Stevadores）

人名又ハ會社名	營業所	備	考
大和組	龍井町		
大同組	港町		
朝日組支店	三和町		
國際通運株式會社出張所	三和町		

二、貨物船積業者 (Shipping Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備	考
朝鮮商工株式會社	三和町		
合資會社青木組	同		
朝日組支店	同		
日鮮海運株式會社出張所	同		
國際通運株式會社出張所	同		
河村商會	同		

三、貨物陸揚荷捌業者 (Landing Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備	考
朝鮮商工株式會社	三和町		

合資會社青木組	同		
日鮮海運株式會社出張所	同		
國際通運株式會社出張所	同		
河村商會	同		
朝日組支店	同		

四、船舶碇繋業者 ナシ

五、回漕業者 (Forwarding Agents)

人名又ハ會社名	營業所	備	考
朝鮮商工株式會社	三和町		
合資會社青木組	同		
日鮮海運株式會社出張所	同		
國際通運株式會社出張所	同		
河村商會	同		
鎮南浦汽船株式會社	月見町		
船舶共同組	三和町		
米津清市組	同		
大成組	港町		

朝日組支店	三和町	備	考
綿島角一	三和町		
合成組	同		
三成組	同		
大和組	港町		
朝日組支店	同		

六、普通倉庫業者

鎮南浦倉庫株式會社	港町	備	考
新井新藏	旭町	一般普通貨物 私設保稅倉庫	

七、保稅倉庫業者

稅關支署	港町	備	考
新井新藏	旭町	私設保稅倉庫	

八、保稅工場業者

ナシ

九、海軍檢定業者 (Surveyor)

ナシ

一〇、船業者

朝鮮商工株式會社	三和町		
鎮南浦船舶共同組	同		
鎮南浦汽船株式會社	月見町		
米津清	三和町		
石川勢	同		
朝日組支店	同		
大成組	港町		
三和組	同		
共成組	同		
合和組	三和町		

一一、檢才業者 (Measurer)

ナシ

一二、曳船業者

人名又ハ會社名	朝鮮商工株式會社	營業所	三和町	備考
---------	----------	-----	-----	----

一三、貨物受渡立會業者 (Tally man) ナシ
 一四、陸上運送業者

人名又ハ會社名	營業所	備考
朝日組支店	三和町	
大和組	龍井町	
丸五運送店	三和町	
南浦組	同	
國際通運株式會社出張所	同	
平安運輸株式會社	碑石里	
象小運送店	漢頭里	
丸田運送店	驛前	
丸滿運送店	港町	
後藤運送店	三和町	

鎮南浦港荷役労働調査

第一、荷役労働者及同供給業者

一、種類

當港ニ於ケル荷役労働者ハ内外國貨物及沿岸搬出入貨物ノ積卸及市内運搬等ニ従事シ貨物ノ種類別及作業場所ハ外國貨物(穀物雜貨原糖等)ノ積卸ハ船渠内岸壁ニ於テ内國貨物及沿岸貨物(穀物雜貨等)ハ同波止場ニ於テ行ハレツツアリ尤モ輪移入石油ハ危險品ナルヲ以テ性質上船渠内ノ荷役ヲ許サレズシテ本船ヨリ直チニ石油倉庫ニ同山東鹽ハ新港ヨリ移出無煙炭ハ特別波止場ニ於テ船積ヲナス從ツテ船舶ハ其ノ積載品如何ニ依リ岸壁、新港石炭積込所ニ夫々投錨又ハ繫留シ作業ヲ爲シ居レリ右荷役ニ従事スル労働者ヲ供給スル主ナル團體ハ三和労働組合、鎮南浦労働組合、西廣組、西鮮労働組合、埠頭労働組合ノ五組合ニシテ三和労働組合ハ荷役請負業者タル大和組、大同組、國際通運株式會社出張所ニ西鮮労働組合ハ朝日組支店ニ附屬シ主トシテ内外國貨物ノ積込、陸揚、運搬等ノ埠頭荷役ニ従事シ鎮南浦労働組合、西廣組、埠頭労働組合ハ鮮人穀物貿易商問屋業者ニ専用サレ沿岸搬入穀物ノ揚陸及市内運搬ニ従事ス前記移出石炭ノ内海軍用徳山間無煙炭ノ貨車卸及船積ハ特別請負業者ノ專屬人夫之ニ従事ス其他荷役ノ監督及ウインチマンハ荷役請負業者ヨリタリマンハ船會社ニ於テ夫々專屬傭人ヲ以テ之ニ従事セシム

二、數

1. 常備労働者

a. 總數約五〇〇名

b. 種類別數(女ナシ)

分業不明ナリ

c. 労働者供給者別所屬労働者數

三和労働組合 約 五〇〇人

鎮南浦労働組合 約 八〇人

西 廣 組 約 五五人

西鮮労働組合 約 一〇五人

埠頭労働組合 約 四〇人

d. 荷役請負業者直屬労働者(仲仕)

大 和 組 七〇人

朝日組支店 一七人

大 同 組 五一人

e. 國際通運株式會社出張所 六人

世帯ヲ有スル者ノ數 總數ノ五分ノ四

2. 臨時労働者數 總數ノ五分ノ一

a. 其ノ地方的ノ名稱

b. 季節別概數冬期ニ 約 一〇〇人

c. 前項概數ノ中 農夫 約 一六〇

漁夫 同 四〇〇

3. 鑑札ヲ有スル者ナシ

三、就業狀況及繁忙季節

1. 労働者一人ニ付月別平均就業日數

一月十日 二月十五日 三月二十日

四月二十五日 五月二十五日 六月二十日

七月二十日 八月二十日 九月二十日

十月二十六日 十一月二十六日 十二月二十五日

2. 繁忙季節ニ於ケル一日平均就業労働者數 約 七五〇人

3. 閑散季節ニ於ケル 同 上 數 約 二〇〇人

4. 繁忙季節ト其ノ平均日數 三、四、五、十、十一月、十二月ノ六ヶ月間

5. 閑散季節ト其ノ平均日數 六、七、八、九、一、二月ノ六ヶ月間

四、年齢及移動状況

1. 最高 六十五歳（女ナシ）
最低 十七歳（同）
平均 三十歳（同）
2. 常備労働者平均勤続年数十年
3. 前項ノ平均年数以上勤続労働者数 約 一〇〇人

五、賃銀

1. 率
 - a. 日給ノ場合
 - イ、一日作業時間（日出、日没）
格別ニ食事又ハ休憩時間等ナシ荷扱ノ合間ヲ見テ飲食又ハ休憩ヲ爲セリ
 - ロ、支給率 仲仕 内地人二圓ヨリ二圓五十錢
鮮人一圓三十錢ヨリ一圓五十錢
普通人夫鮮人 一圓
 - ニ、時間外作業ニ對スル支給率 一時間 毎ニ 五錢増
ホ、當日拂トス
 - b. 時間給ノ場合ナシ

但シ日出ヨリ正午マテヲ半日トシ日出ヨリ日没マテヲ一日トス

イ、夜間ニ於ケル每一時間ノ賃銀前記時間外作業ニ對スル支給率ト同様

c. 能率ニ依リ支給ノ場合

米穀四斗入一呎	呎	入	替	賃	金	三錢乃至五錢
同	印	打	チ	同		二厘乃至三厘
同	繰		替	同		一錢
同	内	升	同			二十錢
同	倉入又ハ倉出資金	同				各一錢六厘
同	濱ニテ取廻	同				七、八厘乃至一錢
同	切替又ハ解キ移シ	同				四錢（數量多少ニ依リ不同アリ）
同	繩掛	替	同			二錢
同	運搬賃（米穀四斗入一呎）					
	距離約	三丁以内				三錢
	同	六丁以内				三錢三厘
	同	七丁以内				三錢八厘
	同	九丁以内				四錢五厘

2. 支給方法

- 臨時人夫ハ日拂、常傭人夫ハ其ノ月十五日ニ月給ハ月末拂トス
- 臨時労働者ノ賃銀率ハ壹圓内外ニシテ支給方法ハ其日拂トス

六、作業制度

- 1. 口ニ依ルモノ
 - a. 種類本船積卸、及貨車積卸
 - b. 本船積卸 一口ノ人員(監督部署等)十七名
- 貨車積卸 同 (同) 九名

七、能率

- 1. 機械装置ヲ使用スル場合 (本船積卸) 機械、金物、雜貨 約 三〇噸
- 2. 主トシテ人力ニ依ル場合 (同) 雜穀 貨物 約 二五噸

八、雇傭方法

- 1. 特殊ノ方法ナシ
- 2. 供給業者ガ荷役作業ノ下請負ヲ爲ス場合荷役業者トノ間ニ協定スル品別荷役賃(事業繁閑如何ニ依リ變更スルコトアリ)

本船揚陸賃金	雜貨其他噸當リ	十六錢
--------	---------	-----

本船積込賃金	穀物其他同	十五錢
貨車積込賃金	穀物雜貨同	十五錢
同 卸	雜穀 噸當リ	十五錢
	噸當リ	七厘

九、労働者供給業者(内容調)別表ノ如シ

【其ノ一】

- 1. 組合又ハ氏名 鎮南浦三和労働組合
- 2. 所屬労働者ノ程類及數

海上仕役人夫	二百八十名
陸上仕役人夫	二百二十名
合 計	五百名

- 3. 供給業者ト所屬労働者トノ關係等
- 組合ノ組織ニシテ所屬労働者ハ全部組合員トシ組合員ハ組合費トシテ作業賃金ノ二割ヲ組合ニ納入ス
- 4. 本組合ハ荷役業者タル大和組、大同組、國際通運株式會社出張所ノ下請負業者ナリ一ケ年取扱貨物噸數等ハ第二條五項ノ荷役請負業者取扱高ニ依リ御諒知相成タシ(資力豊富)

【其ノ二】

1. 組合又ハ氏名 西鮮労働組合
2. 所屬労働者ノ種類及數 一百五人(海陸上仕役人夫)
3. 供給業者ト所屬労働者トノ關係

三和労働組合ニ同ジ

4. 5. 本組合ハ荷役業者タル朝日組支店ノ下請負業者ナリ一ケ年取扱ヒ貨物噸數等ハ第二條荷役請負業者表ニ依リ御諒知相成タシ(資力普通)

【其ノ三】

- 一、名稱 鎮南浦労働組合
- 二、所屬労働者ノ種類及數(陸上人夫) 八十名
- 三、組合組織ニシテ所屬労働者ハ全部組合員トシ組合員ハ作業ノ賃金ヨリ組合ノ納金(一割五分)其他費用ヲ控除シ殘額ヲ平均ニ分配ス(出働者ニ限り)
- 四、最近一ケ年取扱貨物數量 穀物約 一二三、〇〇〇噸
- 五、本組合ノ労働者ハ鮮人穀物貿易業者ニ専用サレ沿岸搬入穀物ノ船卸又ハ市内運搬ニ従事ス(資力普通)

【其ノ四】

- 一、名稱 西廣組
- 二、所屬労働者ノ種類及數(陸上人夫) 五十五人

三、個人經營ニシテ所屬労働者ハ作業賃金ヨリ組費トシテ一割五分ヲ本組ヘ納入シ殘額ヲ出働者ニ於テ平均ニ分配ス

- 四、最近一ケ年取扱貨物數量 穀物 約 七三、八〇〇
- 五、鎮南浦労働組合ニ同ジ(資力普通)

【其ノ五】

- 一、名稱 埠頭労働組合
- 二、所屬労働者種類及數(陸上人夫) 四十名
- 三、鎮南浦労働組合ニ同ジ
- 四、最近一ケ年取扱貨物數量 穀物 四九、二二二噸
- 五、鎮南浦労働組合ニ同ジ(資力普通)

一〇、荷役労働者ノ居住

1. 荷役場所又ハ荷役ノ爲メ乗船地點ニ對スル労働者居住地區ノ位置及距離
位置 龍井里、碑石里、億兩機里、芝山里、新興里
距離 約七八丁乃至十三四丁
2. 交通機關特記事項ナシ
3. 居住ニ對スル施設右同斷

一、保險、傷害、休養、衛生其他ニ關スル施設又ハ給與
特記事項ナシ

但シ職務上ノ傷害等ノ場合ハ労働組合所屬ノ人夫ニ對シテハ同組合ヨリ荷役業者ノ直屬人夫ハ荷役業者ヨリ治療
費トシテ幾分宛給與スルコトアリ

二、教育程度

大半無學ニシテ間々教養アルモ小學校二、三、四學年程度ナリ、氣質稍々溫順、道德程度、思想ノ傾向特記事項
ナシ

三、労働爭議

該當事項發生セルコトナシ

四、労働組合

1. 純荷役労働者ノミヨリ成ル労働團體

本項ハ別紙労働者供給業者表中 三和労働組合 西鮮労働組合参照

2. 該當事項ナシ

第二、荷役請負業者（内容調）

同業組合 ナシ

【其ノ一】

一、名稱 大同組

二、資力 豊富

三、直屬労働者

1. 種類及數 内地人 十名
朝鮮人 四十一名

2. 雇傭方法特殊ノ方法 ナシ

3. 内地人ハ貳圓貳拾錢ヨリ貳圓七拾錢マデ朝鮮人ハ壹圓參拾錢ヨリ貳圓マデ其他無條件

四、所有設備

1. 水上運搬具 舢舨十隻 六百噸

2. 陸上運搬具 馬車 十二臺

3. 機械装置 ナシ

五、取扱高（最近一ヶ年間）本船積卸貨物 四二六、〇〇〇噸（主要品名、穀類、無煙炭、鑽石、金物、雜貨、原糖）

【其ノ二】

一、名稱 大和組

二、資力 豊富

三、直屬労働者

1. 種類及數 内地人 三十名
朝鮮人 四十名

2. 特殊雇傭方法 ナシ

3. 賃銀率内地人ハ歩合制、朝鮮人ハ日給制度ニシテ日給ハ一圓三十錢ヨリ二圓マデ其他無條件

四、所有設備

1. 水上運搬具 ナシ

2. 陸上運搬具 1. 馬車 三十臺

3. 機械裝置 ナシ

4. 貨物藏置設備 倉庫 一棟

五、取扱高(最近一ヶ年間)本船積卸貨物二八〇、〇〇〇噸(主ナル品名、無煙炭、穀類、雜貨)

【其ノ三】

一、名稱 國際通運株式會社鎮南浦出張所

二、資力 豊富

三、直屬勞働者

1. 種類及數 朝鮮人 牛車夫 六名

2. 特殊ノ雇傭方法 ナシ

3. 賃銀率日給(平均九十錢)其他無條件

四、所有設備

1. 水上運搬具 ナシ

2. 陸上運搬具 牛車 五臺 手車 二臺

3. 機械裝置 ナシ

4. 貨物藏置設備 倉庫 二棟

五、取扱高(最近一ヶ年間)本船積卸貨物二〇、四五〇噸(鉄鐵、海産物、糖蜜、肥料其他)

【其ノ四】

一、名稱 朝日組支店

二、資力 豊富

三、直屬勞働者

1. 種類及數 内地人 一七名

2. 雇傭方法 特殊ノ方法 ナシ

3. 賃銀率ハ歩分制度マシテ其他無條件

四、所有設備

1. 水上運搬具 舢舨 六隻 一二二噸

- 2. 陸上運搬具 牛十頭、牛車、十一臺
- 3. 機械装置 ナシ
- 4. 貨物藏置設備 雨覆 五十枚
- 5. 取扱高(最近一ケ年間) バルブ類 一〇〇〇〇噸、セメント 三三、〇〇〇噸

第三、人力ニ依ル荷役又ハ運搬

- 一、主ナル貨物ノ品名並ニ荷造 穀物、雜貨金物(晒入繩締)
- 二、三、荷役又ハ運搬ノ方法 主トシテ荷馬車 遠距離ノモノハ(トラクター)ニ依ル
- 四、一人一時間ノ荷役又ハ運搬能率 六噸
- 五、一口一時間ノ荷役又ハ運搬能率 二十噸

新義州港荷役調査一般

第一、水深區分

港内ノ水深ハ水系ノ變化ト雨季ニ於ケル増水ニ依リ變遷極リナキモ最近調査ニ依レバ左記ノ如シ

場	所	水	深	場	所	水	深
税關棧橋前	ヨリ一〇〇米迄	三米二乃至三米		鴨綠江柳草島	西方中州ノ東側	一米三	
甲種物揚場前	ヨリ二五〇米迄	二米五乃至三米五		鴨綠江柳草島	西方ヨリ擴延セル洲ノ西側	〇米三	
乙種物揚場前	ヨリ二五〇米迄	二米 乃至三米五		丙種物揚場前	ヨリ二五〇米迄	一米五乃至一米二	
鴨綠江柳草島	ヨリ南方ニ擴延セル洲ノ西側	三米五		鴨綠江柳草島	ノ北端ニ擴延セル洲ノ西側	一米	

第二、港内繫船能力

港内ハ概シテ水深ニ乏シキノミナラズ河口ヨリ當港ニ到ル間ニ數多ノ淺瀬アリテ干潮時ノ如キハ船舶ノ運航ニ不便多ク五、六百噸級ノ汽船ト雖モ最滿潮時ヲ利用スルニ非レバ入港全ク不可能ナルガ爲メ汽船ノ出入ハ絶無ニシテ從ツテ汽船ニ對スル繫船設備ヲ有セズ、單ニ出入帆船ノ維繫並ニ荷役ニ便スル爲メ二ヶ所ノ貨物揚場ヲ設備セルニ過キザルガ其ノ繫船能力約五百隻トス

第三、防波堤、防砂堤、道水堤、繫船壁 ナシ

第四、潮位及潮流

當港ハ江口ヲ距ルコト十六哩ノ地點ニ在ルヲ以テ直接潮流ノ影響ヲ受ケルコト少キモ外海潮位ノ高低ハ河川水位ノ昇降ヲ馴致シ潮汐干満ノ差ニ米乃至三米ニ及ブ試ミニ滿潮及干潮時ニ於ケル水位ヲ月別ニ示セバ左ノ如シ(單位米)

種目	滿潮		干潮		種目	滿潮		干潮	
	最高	最低	最高	最低		最高	最低	最高	最低
一月	二・八〇	一・八六	〇・六八	〇・三〇	七月	五・六五	二・二九	五・〇〇	〇・四〇
二月	二・六八	二・二八	〇・六二	〇・三六	八月	四・八五	二・〇八	三・四五	〇・九二
三月	二・六四	二・三六	〇・六二	〇・三六	九月	四・二〇	二・四〇	一・一四	〇・五〇
四月	三・九八	二・三八	〇・七六	〇・四四	十月	三・六二	一・八〇	〇・七〇	〇・三八
五月	四・五二	二・二二	一・二二	〇・四四	十一月	三・五〇	一・二二	〇・六〇	〇・二七
六月	四・二〇	二・六二	一・二二	〇・四四	十二月	二・七六	一・三六	〇・四七	〇・二二

第五、棧橋

名稱	現在ノ		水深	構造	經營者	備考
	延長	幅員				
稅關棧橋	四五間	五間	右側 三・二米 左側 三・五米	木造	朝鮮總督府	工事中又ハ確定計畫ノモノナシ

- 一、修船渠 ナシ
- 二、港灣用地 ナシ
- 三、小船船溜 ナシ
- 四、港内航路 ナシ
- 五、浚渫

プリストマン浚渫機

約六九七五〇坪

朝鮮總督府

棧橋左側ヲ約一米浚渫ス

港内人夫

種類	人員	一日一人ノ賃銀	主ナル荷物一日	備考
常備人夫	日本人 二〇〇 支那人 二〇〇	二・五〇 〇・七〇	鐵線 四、〇〇〇斤	臨時人夫ハ四〇〇人 一人當日給八十錢

六、解船及曳船

種別	隻數	噸數	馬力	料金	備考
解船	二四	八五二・五七	—	—	專ラ龍岩浦港、薪島等ノ汽船錨地ト當港間ニ其ノ積卸貨物ノ運搬ニ從事
曳船	—	—	—	—	—

水先區	航路	案内料		人員	備考
		汽船	帆船		
鴨綠江	多獅島錨地ヨリ安東縣錨地迄	三〇圓		四	新義州錨地ナキ爲安東縣錨地ヲ掲記ス
	安東縣錨地ヨリ多獅島錨地迄	三〇圓			

一、汽船ノ運航ハ冬期結氷中ハ中絶ス

一、鴨綠江上下流運航船

發動汽船 七隻
 高瀬船 三〇隻
 艚子 六四隻

附 錄

一、税關棧橋、繫船壁及船渠使用規則 (大正十一年四月 府令第四七號)

- 第一條 本令ニ於テ棧橋トハ釜山税關所屬ノ第一埠頭及第二埠頭ノ南北兩側棧橋ヲ、繫船壁トハ元山税關支署所屬ノ繫船壁ヲ、船渠トハ仁川税關及鎮南浦税關支署所屬ノ船渠ヲ謂ヒ、税關又ハ税關長トアルハ第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外税關支署所屬ノ繫船壁又ハ船渠ニ付テハ税關支署又ハ税關支署長トス
- 第二條 棧橋繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ其ノ前日迄ニ第一號様式ノ申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ税關ノ承認ヲ受ケタルトキハ使用開始前三時迄ニ申請書ヲ提出スルコトヲ得
- 定期航行船舶及常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル船舶ニ付テハ第二號様式ノ申請書ヲ税關ニ提出シ豫メ期間ヲ定メ使用ノ許可ヲ受クルコトヲ得
- 第三條 前條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ使用期間ヲ變更セムトスルトキハ税關ノ許可ヲ受クヘシ
- 第四條 使用時間經過後引續キ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ時間終了前三時迄ニ第一號様式ノ申請書ヲ税關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ
- 第五條 棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ船舶ノ登簿噸數一噸ニ付使用二十四時間迄毎ニ二錢ノ割合ヲ以テ使用料ヲ前納スヘシ但シ一噸未滿ノ噸數ハ之ヲ計算セス
- 前條ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ納付スヘキ使用料ハ最初使用ノ時ヨリ通算シタル使用時間ニ相當スル使用料額ヨリ既納ノ分

ヲ控除シタル金額トス

第五條ノ二 使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用料ヲ納付セムトスル者ハ納付書又ハ第一號様式ノ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ提出スヘシ

第六條 稅關長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ定期航行船舶又ハ常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル船舶ニ付テハ期間ヲ定メ使用料ヲ減額シ又ハ納付方法ヲ定ムルコトヲ得

戰時軍用ノ船舶ニ付テハ稅關長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ使用料ヲ免除スルコトヲ得

第七條 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セス但シ使用ノ許可ヲ取消シタル場合ハ此ノ限りニ在ラス

第八條 稅關長ハ必要ト認ムルトキハ棧橋、繫船壁若クハ船渠ノ使用ヲ停止シ使用ノ許可ヲ取消シ繫留ノ場所ヲ變更シ又ハ一時棧橋、繫船壁若ハ船渠ヨリ離退セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セサル時間ハ之ヲ使用時間ニ算入セス此ノ場合ニ於テハ使用時間終了後之ニ相當スル時間其ノ使用ヲ繼續スルコトヲ得

第九條 棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用中ハ左ノ行爲ヲナスコトヲ得ス但シ第一號及第二號ノ行爲ハ稅關長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限りニ非ス

一、船舶ノ修繕ヲナスコト

二、爆發質若ハ引火質ノ物品、石灰、荷足若ハ他物ヲ汚損スヘキ貨物ノ積卸ヲ爲スコト

三、荷足、灰燼、塵芥、汚物等ヲ水中ニ投棄スルコト

第十條 省 略

第十一條 省 略

第十二條 本令ニ規定スルモノノ外稅關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ棧橋、繫船壁、又ハ船渠ノ使用ニ關シ制限ヲ設クルコトヲ得

第十三條 故意又ハ過失ニ因リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ毀損シタルトキハ稅關長ハ其ノ毀損者ヲシテ之ヲ修繕セシムルコトヲ得

第十四條 漂流物又ハ沈没品ニシテ棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ障害アリト認ムルトキハ稅關長ハ其ノ物件ノ所有者又ハ之ヲ投棄シ若ハ脱落セシメタル者ヲシテ除去セシムルコトヲ得

第十五條 棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル者本令ノ規定又ハ稅關長ノ命令ニ違反シタルトキハ稅關長ハ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヨリ其ノ船舶ヲ離退セシムルコトヲ得

第十六條 第二條第二項ノ許可ヲ受ケタル者臨時代船ヲ使用セムトスルトキハ豫メ稅關ニ届出スヘシ

臨時代船ノ使用料ハ本船ノ使用料ト同額トス

第十七條 省 略(様式省略)

二、稅關所屬曳船使用規則 (大正七年五月 府令第四八號)

第一條 釜山稅關棧橋若ハ元山稅關支署繫船壁ニ船舶繫離ノ爲又ハ仁川稅關船渠ニ船舶出入ノ爲稅關所屬ノ曳船ヲ使用セムトスル者ハ別記様式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受ケヘシ

第二條 曳船使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ曳船一隻ニ付一時迄毎四圓ノ割合ヲ以テ使用料ヲ稅關ニ納付スヘシ

第二條ノ二 使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ使用料ヲ納付セムトスルモノハ納付書又ハ第一號

様式ノ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ納付スヘシ

第三條 税關長ハ必要アリト認ムルトキハ曳船使用ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ヲ停止スルコトヲ得

第四條 曳船カ船舶ノ曳船作業ニ從事中其ノ船舶ニ生シメタル損害ニ付テハ税關ハ其ノ責ニ任セス

第五條 税關、棧橋繫船壁及船渠使用規則第三條第四條第六條第七條及第十三條ノ規程ハ曳船ノ使用ニ付之ヲ準用ス

第六條 本令ニ於テ税關又ハ税關長トアルハ税關棧橋、繫船壁及船渠使用規則第六條ノ規定ヲ準用スル場合ヲ除クノ外税關支署所在地ニアリテハ税關支署又ハ税關支署長トス(様式省略)

三、保稅地域内貨物取扱規則 (大正四年七月 告示第二二號)

第一條 保稅地域内ニ貨物ヲ搬入セムトスルモノハ左記各號ノ區別ニ依リ相當書類ヲ當該官吏ニ提出スヘシ

一、碇泊本船ヨリ船卸シタルモノハ臨船監視官吏ノ認印アル川送狀又ハ陸揚届書但シ陸揚届書ハ川送狀ヲ以テ之レニ代フルコトヲ得

二、運送貨物ナルトキハ相當申告書、免狀又ハ運送目錄但シ沿海通航船ニ資格ヲ變更シタル陸軍一部御用船ニ依リ内國貨物ヲ運送スル場合ハ送致届書

三、輸移出及積戻ノ爲送致シタル貨物ナルトキハ送致届書

四、其ノ他保稅地域ノ使用ヲ認許セラレタル貨物ニ關シテハ其ノ認許書類

第二條 保稅地域ニ搬入シタル貨物ノ置場及排列ハ當該監視官吏ノ指揮ニ從フヘシ

第三條 検査ノ爲検査場ニ搬入シタル貨物ハ検査終了後速ニ場外ニ搬出スヘシ

検査ノ爲開裝チナシタル貨物ハ検査場内ニ於テ復裝スヘシ

第四條 保稅地域内ニ於テ當該監視官吏ノ認許ヲ得ルニ非サレハ左記各項ノ所爲チナスコトヲ得ス

一、貨物ヲ異動スルコト

二、貨物ノ秤量ヲ爲スコト

三、貨物ノ記號番號ヲ記入シ變更シ又ハ之ニ類スル所爲チナスコト

四、貨物包装ノ手入チナスコト

五、貨物ノ見本取出其ノ他貨物ヲ開披スルコト

第五條 保稅地域ヨリ貨物ヲ搬出セムトスルトキハ免狀又ハ許可書ヲ當該監視官吏ニ提出シ左記各號ノ手續ヲ了スルニ非ラサレハ之ヲ搬出スルコトヲ得ス

一、免狀又ハ許可書ニ搬出許可ノ裏書ヲ受クルコト

二、輸移入貨物ニ在リテハ引取届書運送内國貨物ニ在リテハ引取申請ヲ提出スルコト

三、搬出貨物ハ貨物ノ檢印又ハ檢印代證ヲ受クルコト

第六條 貨物ニ關シ保稅地域ニ出入セムトスル者ハ其ノ都度當該監視官吏ニ届出ツヘシ

第七條 前各條ノ外貨物ノ取扱ハ總テ當該官吏ノ指揮ニ從フヘシ

附 則

本規則ハ大正四年八月一日ヨリ施行ス

注意 本規則ニ違反シタル者ハ關稅法第八十一條ニヨリ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セララルヘシ

四、元山税關内國貨物藏置場使用規程

(大正十一年七月
達 第四號)

- 第一條 本規程ニ於テ内國貨物藏置場ト稱スルハ一號上屋及甲號外置場九百坪並乙號外置場二百十六坪トス
- 第二條 内國貨物藏置場ニ貨物ヲ搬入シ又ハ搬出セムトスル者ハ本規程ヲ遵守スヘシ
- 第三條 本藏置場ニ貨物ヲ搬入シ又ハ搬出セムトスル者ハ別紙様式ノ申請書ヲ税關監視課ニ提出シ其ノ許可ヲ受クヘシ
- 第四條 本藏置場ニ藏置シ得ル貨物ハ内國貨物トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ藏置スルコトヲ得ス
 - 一、外國貿易船(内地通航船ヲ含ム)ヨリ積卸スル内國貨物
 - 二、巨大ナルモノ又ハ重量ナルモノ
 - 三、腐敗セシ物又ハ腐敗シ易キモノ
 - 四、發火質、燃燒質又ハ爆發質ノモノ
 - 五、藏置場又ハ他ノ貨物ヲ汚損スル虞レアルモノ
 - 六、生活力ヲ有スル動物
 - 七、不潔物
- 八、傳染病流行地ヨリ出入スル古着、襪、古綿其ノ他税關ニ於テ病毒傳播ノ虞レアリト認メタルモノ
- 第五條 貨物藏置期間ハ搬入ノ日ヨリ五日間以内トス
- 第六條 貨物ノ搬入又ハ搬出ヲ終了シタルトキハ其ノ旨監視課ニ届出ヘシ
- 第七條 藏置場内ニハ火氣ヲ入ルルコトヲ得ス燈火ヲ要スルトキハ安全提燈ヲ用フヘシ

- 第八條 税關ハ藏置貨物ノ紛失又ハ損害ニ付其責ニ任セス
- 第九條 故意又ハ過失ニ依リ藏置場ヲ毀損シタルトキハ税關ハ毀損者ヲシテ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ
- 第十條 前各條ノ外藏置場ノ使用ニ關シテハ税關ノ指揮命令ヲ遵守スヘシ
- 第十一條 本規程ニ違反シタル者ハ爾後藏置場ノ使用ヲ許可セサルコトアルヘシ(様式省略)

五、元山港税關所屬沿岸貿易地帯使用規則

(昭和四年四月
告示第三號)

- 第一條 元山港大棧橋附近及元山商業會議所附近別紙圖面表示ノ地域ヲ以テ元山港税關所屬沿岸貿易地帯トシ大棧橋、大棧橋倉庫及元山商業會議所北側假上屋ヲ以テ其ノ附屬設備トス
- 第二條 前條ノ沿岸貿易地帯及附屬設備ノ常時使用者ハ組合ヲ組織シ使用責任者ヲ定ムヘシ
- 第三條 組合ニ於テ規約ヲ定メムトスルトキハ元山税關支署長ノ承認ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ
- 組合ハ使用責任者ノ住所職業及氏名ヲ元山税關支署ニ届出ツヘシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ
- 第四條 組合員ニ非サル者本地帯又ハ附屬設備ヲ使用セムトスルトキハ組合ノ承認ヲ受クヘシ
- 第五條 組合又ハ使用者本地帯ニ於テ沿岸貿易上必要ナル設備ヲ爲サントスルトキハ元山税關支署長ノ承認ヲ受クヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ朝鮮官有財産管理規則ニ依リ使用許可ヲ受クヘキモノアルトキハ更ニ其ノ手續ヲナスヘシ
- 第六條 使用者上屋倉庫、棧橋、物揚場、其ノ他ノ設備ヲ毀損シタルトキハ速ニ之レヲ修理ヲナスヘシ
- 第七條 使用者ハ常ニ其ノ使用地域内ノ整頓清潔及火氣ニ注意スヘシ
- 第八條 元山税關支署長ハ必要ニ應ジ本地帯内ニ藏置セル貨物ノ取除若クハ移動ヲ命ジ又ハ本地帯ヲ縮少若ハ廢止スルコトヲ得

第九條 組合又ハ使用者ハ前各條ニ定ムルモノノ外元山税關支署長ノ指示命令ヲ遵守スヘシ
第十條 本規則ニ違反シタルモノニ對シテハ本地帶及附屬設備ノ使用ヲ禁止スルコトアルヘシ

附 則

本規則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(圖面省略)

港灣協會 發行 港灣調查資料

- 第一輯 港灣能率增進問題 (品切)
- 第二輯 水上小運送調查資料 其一 (品切)
- 第三輯 橫濱港荷役調查 (實費一、三〇錢 送料共)
- 第四輯 東京港荷役調查 (實費八〇錢 送料共)
- 第五輯 新潟港及敦賀港荷役調查 (實費八〇錢 送料共)
- 第六輯 大連港荷役調查 (實費七〇錢 送料共)
- 第七輯 水上小運送調查資料 其二 (實費九〇錢 送料共)
- 第八輯 本邦港灣諸掛調 (貨物關係之部) (實費一、八〇錢 送料共)
- 第九輯 朝鮮諸港荷役調查 (實費一、五〇錢 送料共)

昭和六年五月十一日印刷
昭和六年五月十六日發行

發行所 港灣協會
東京市麴町區大手町一丁目六番地
電話丸ノ内一九一七番
振替貯金口座東京三〇五番

發行者	東京府荏原郡世田谷町若林二四番地 港灣協會代表者
編輯者	關田駒吉
印刷所	東京市日本橋區本銀町四丁目九番地 益文社印刷所
印刷者	東京市日本橋區本銀町四丁目九番地 菊地儀助

